

共通英語	通年 2 単位	1年
テーマ別のリーディング		
<p>【担当教員】</p> <p>井伊 順彦（いい のぶひこ）、石井 朋子（いしい ともこ）、磯崎 京子（いそざき きょうこ）、上原 美知子（うえはら みちこ）、江崎 聡子（えざき さとこ）、江連 和章（えづれ かずあき）、加賀屋 俊二（かがや しゅんじ）、木村 さなえ（きむら さなえ）、黒岩 裕（くろいわ ゆたか）、杉田 弘也（すぎた ひろや）、鈴木 千加子（すずき ちかこ）、鶴見 典子（つるみ のりこ）、藤村 待子（ふじむら まちこ）、海琳 泰子（みたま やすこ）、矢部 寿美子（やべ すみこ）</p> <p>「共通英語」では、「女性の生き方」「人間」「社会と文化」「言語」「生命と自然」の5つの分野から、いずれか1つを選択します。授業の目的は大きく分けて2つあります。1つは上記の各分野に関する入門レベルのテキストを読んで、リーディングの力をつけることです。2つめの目的は、英文テキストの読解を通して、自己の考えを深め、各々の分野について基礎的な知識を身につけることにあります。つまり「共通英語」とは、「内容」を重視した「リーディング」の科目ということになります。「共通英語」の各分野の内容は下記の通りです。</p> <p>1) 女性の生き方 この分野では、女性学や女性論に関する文献、女性を描いた伝記・エッセイなどを読んで、女性の役割や生き方について考えます。</p> <p>2) 人間 この分野は、人間に関する理解を深めること、または人生について考えることを目的とします。人生論、哲学、思想、人類学、教育学、心理学などの分野から選ばれた文献を読んで、人間や人生について考えます。</p> <p>3) 社会と文化 この分野では、英語圏の国々や日本の歴史、政治、経済、地理などを紹介した文献、またはこれらの社会的・文化的な特質を論じた文献を読みます。日米、日英を比較した社会論や文化論もこの分野に含まれます。</p> <p>4) 言語 この分野は、言葉についての理解を深めることが目的です。言語の習得、言語のしくみ、言語の社会的な特徴、言語事情、言語の歴史、コミュニケーションの問題などを分かりやすく解説した文献を読みます。</p> <p>5) 生命と自然 この分野では、環境、医療、衣食住、性など、人の生命や健康にかかわる問題を扱った文献、または、自然科学の基礎的な知識を一般向けに分かりやすく紹介した文献を読みます。</p> <p>上記の5分野の授業についていくことに不安を感じる場合は、共通英語（基礎）のクラスを受講することもできます。共通英語（基礎）のクラスでは、英文法の基礎を学び、英文がどのように構成されているかを理解し、比較的平易な英文を読む能力を養います。</p>		

共通英語（女性の生き方）	通年 2 単位	1年
現代世界と女性の針路	井伊 順彦（いい のぶひこ）	
ねらい	現代では、国や地域によって差はあるものの、女性自身の努力や男性の協力によって、女性に対する様々な制約が改善されつつある。本授業ではそうした変化をさらに進めるために、世界（主として日米欧）における女性の諸状況を扱った教科書をていねいに読んでゆく。授業の趣旨に沿うリスニング練習も取り入れたい。受講生の積極参加を求め	
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 授業内容の説明および印刷物を配布しての紹介授業</p> <p>第2回 前回配布した印刷物を用いての通常授業</p> <p>第3回 上記印刷物および教科書を用いての通常授業</p> <p>第4回 教科書を用いての通常授業</p> <p>第5回 同上</p> <p>第6回 同上（指定の主題によるレポートも指示する）</p> <p>第7回 同上</p> <p>第8回 同上（上記レポートの提出日）</p> <p>第9回 同上</p> <p>第10回 同上（場合に応じて視覚教材も用いる）</p> <p>第11回 同上</p> <p>第12回 同上（補助用の印刷物を配布しての解説も含める）</p> <p>第13回 同上</p> <p>第14回 同上（リスニングの小テストも実施する予定）</p> <p>第15回 同上（上記リスニングテストを返却・解説する）</p>	<p>【後期】</p> <p>第1回 同上（前期のようすを見て取り組み方への助言もする）</p> <p>第2回 同上</p> <p>第3回 同上</p> <p>第4回 同上</p> <p>第5回 同上（補助用の印刷物を配布しての解説も含める）</p> <p>第6回 同上</p> <p>第7回 同上（補助用の印刷物を配布しての解説も含める）</p> <p>第8回 同上（場合に応じて視覚教材も用いる）</p> <p>第9回 同上</p> <p>第10回 同上（指定の主題によるレポートも指示する）</p> <p>第11回 同上</p> <p>第12回 同上（上記レポートの提出日）</p> <p>第13回 同上（リスニングの小テストも実施する予定）</p> <p>第14回 同上（上記リスニングテストを返却・解説する）</p> <p>第15回 試験</p>
進め方	授業ごとに、前もって指名された数名の学生が、自分の担当箇所を読んで訳す。その際は発音にも気をつける。訳したのちに、まず英米人の声吹き込まれたレコーダを再生して同じ箇所の正確な発音を全員で確認し、ついで文法や内容に関する教師の質問に担当者が答える。	
テキスト	World Graffiti（『ニューヨークタイムズで世界を知る』（英宝社）1800円（税別）	参考文献 おりにふれて教室で指示する。
評価方法	平常活動:30% 小テスト（予定）:10% 試験:25% 貢献（教室で説明）:15% 出席:20%	

共通英語（女性の生き方）		通年 2 単位	1年
英語「女性の生き方」		磯崎 京子（いそざき きょうこ）	
ねらい	英語の読む、書く、聞く、話すのスキルを向上させながら、前期は女性の「自立」について、後期は女性の「グローバルイゼーション」に対処するために身につけておきたい資質について考えます。一年を通して、自分の生き方への考え方が深まっていくことを期待しています。		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーションと「シンデレラ」観賞 第2回 シンデレラの生き方 第3回 自分のライフ・プラン 第4回 女性と仕事 第5回 結婚と仕事 第6回 育児と仕事 第7回 途上国の女性達 第8回 私達に出来ることは何か 第9回 働くお母さん 第10回 働くお母さんと社会システム 第11回 結婚相手 第12回 少子化問題 第13回 女性が働きやすい職場とは 第14回 まとめ：自分にとっての幸せな生き方とは 第15回 試験	【後期】 第1回 オリエンテーションと「世界地図」 第2回 2. Knowing Yourself Better 第3回 自分の特性を知る 第4回 5. Effective Communication 第5回 効果的なコミュニケーションとは 第6回 自分のコミュニケーション・スタイルを知る 第7回 世界各国のコミュニケーション・スタイルを知る 第8回 3. Learning to be Outgoing 第9回 外向性の利点 第10回 15. The Path of Leadership 第11回 リーダーシップを身につけるには 第12回 9. Aiming for Self-Actualization 第13回 自己実現を目指して 第14回 まとめ：自分にとっての幸せな生き方とは 第15回 試験	
進め方	ペアワーク、グループワークをしながら、意見を発表することが多い授業です。前期、後期共に期末テストの他にレポートの提出があります。		
テキスト	前期：毎週、プリントを配布します。 後期：テキスト“Words of Wisdom for a Successful Life” Asahi Press	参考文献	授業中に提示します。
評価方法	出席:30% レポート:20% 試験:50%		

共通英語（女性の生き方）		通年 2 単位	1年
世界の結婚・性・家族・社会		矢部 寿美子（やべ すみこ）	
ねらい	世界の様々な結婚形態、性の捉え方・役割の違い、家族の形の歴史を辿りながら、女性の民族的・文化的な違いを考え、現代社会における女性問題と今後の課題を探る。学生自身が英語で読むことに興味を持ち、自らが情報を積極的に収集し、英語で発信できる基礎を固める。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 Chapter 1 Unit 1 ダイアナ妃の結婚 第3回 Unit 2 妻帯の牧師・神父 第4回 Unit 3 白人のキリスト教分派 第5回 Unit 4 東アジア、東南アジアの2つの仏教 第6回 Unit 5 イスラム女性たち 第7回 テスト 第8回 Chapter 2 Unit 1 カリフォルニアの同性婚 第9回 Unit 2 中国での少女婚約、交換婚 第10回 Unit 3 シングルマザーたち 第11回 Unit 4 欧米における同棲 第12回 Unit 5 離婚をどうみる？ 第13回 Chapter 3 Unit 1 姓・名の多様化・自由化へ 第14回 Unit 2 日本における夫婦別姓運動 第15回 テスト	【後期】 第1回 Unit 3 バリ島にある土俗的なルール 第2回 Chapter 4 Unit 1 白川村にて 第3回 Unit 2 核家族の変遷 第4回 Unit 3 今も生きている母系社会 第5回 Unit 4 中国の一人っ子政策 第6回 Unit 5 シンガポールでの政策 第7回 テスト 第8回 Chapter 5 Unit 1 アメリカでの妊娠中絶の賛否 第9回 Unit 2 日本におけるジェンダーの問題 第10回 Unit 3 いまだ残る女性蔑視 第11回 Unit 4 少子化社会への課題 第12回 Unit 5 国際結婚への難題 第13回 復習 第14回 関連映像・課題 第15回 テスト	
進め方	リーディングとその解説が中心となるが、授業では随時映像を使って学生の理解を深める。授業の中で、学生が各自、コンピュータで関連情報を調べる時間をも設ける。毎回の授業のはじめに単語クイズを行う。		
テキスト	大橋久利、Blake Baxter. <i>The Changing Face of Marriage and Family</i> . 成美堂. 2008年. 1,900円（税別）	参考文献	
評価方法	単語クイズ:30% テスト:70%		

共通英語（人間）		通年 2 単位	1年
英語読解を通して、人間理解を深める		上原 美知子（うえはら みちこ）	
ねらい	現代の様々な困難で厳しい状況の中で生き懸命に奮闘した人々から発せられた為に私たちの心に深く訴え、忘れられない力を宿す言葉をとあげます。英語学習面では、既習の語、文法、構文が様々な人々の文体でどの様に生かされているか確認し、あやふやな理解に流れないようにしましょう。		
授業計画	【前期】 第1回 授業方針、テキスト等説明。英語で自己紹介を書く。 第2回 Lesson 1: Christopher Reeve 背景理解用（映像）資料 第3回 Lesson 1 本文 第4回 Lesson 2 Andrew Chaikin 背景理解用（映像）資料 第5回 Lesson 2 本文 第6回 Lesson 3. R. Carson 背景理解用（映像）資料 第7回 Lesson 3 本文 第8回 中間テスト 第9回 Lesson 4 L. M. Montgomery 背景理解用資料 第10回 Lesson 4 本文 第11回 Lesson 5. Jung Chang 背景理解（映像）資料 第12回 Lesson 5 本文 第13回 Lesson 6 Roald Dahl 背景理解用（映像）資料 第14回 Lesson 6 本文 第15回 試験	【後期】 第1回 後期授業説明。英語で休暇中の体験を書く。 第2回 Lesson 7 Pin Yathai 背景理解用（映像）資料 第3回 Lesson 7 本文 第4回 Lesson 9 Mary Fisher 背景理解用（映像）資料 第5回 Lesson 9 本文 第6回 Lesson 10 Walter Lord 背景理解用（映像）資料 第7回 Lesson 10 本文 第8回 中間テスト 第9回 Lesson 11 Muhammad Ali 背景理解用（映像）資料 第10回 Lesson 11 本文 第11回 Lesson 13 Richard Preston 背景理解用（映像）資料 第12回 Lesson 13 本文 第13回 Lesson 15 Z. N. Hurston 背景理解用（映像）資料 第14回 Lesson 15 本文 第15回 試験	
進め方	毎回担当者を決め、責任を持って進めて頂きますが、各自の予習を前提にしていますので、担当者以外も、毎回全員に当てます。皆さんの積極的、授業参加を希望いたします。テキスト、参考資料[ビデオ、映画、ニュース映像を含む]など多くの英語に触れ、様々な場面で使われる英語に親しみ、理解を深めます。		
テキスト	Enduring Voices: Kiriara Shoten	参考文献	その都度紹介します。
評価方法	定期試験:50% 中間テスト:20% 提出物:10% 受講態度:10% 出席状況:10%		

共通英語（人間）		通年 2 単位	1年
英文を楽しんで読む力を養う		江連 和章（えづれ かずあき）	
ねらい	私たちの日常にみられる身近な問題について、特に人間の生理面、心理面から書かれたエッセイを読みます。Readingの基本的方法を体系的に学ぶと共に、人の心のありかたについて考え、人間理解の一助とすることが目的です。		
授業計画	【前期】 第1回 授業の進め方、テキスト等の解説 第2回 Laugh Your Troubles Away (1) 第3回 Laugh Your Troubles Away (2) 第4回 Laugh Your Troubles Away (3) 第5回 Sleep: How Much Is Too Much? (1) 第6回 Sleep: How Much Is Too Much? (2) 第7回 Sleep: How Much Is Too Much? (3) 第8回 Alcohol on the Brain (1) 第9回 Alcohol on the Brain (2) 第10回 Alcohol on the Brain (3) 第11回 Beauty Is Truly in the Eye of the Beholder (1) 第12回 Beauty Is Truly in the Eye of the Beholder (2) 第13回 Beauty Is Truly in the Eye of the Beholder (3) 第14回 前期のまとめ 第15回 定期試験	【後期】 第1回 Is It Possible to Be Too Clean? (1) 第2回 Is It Possible to Be Too Clean? (2) 第3回 Is It Possible to Be Too Clean? (3) 第4回 Blood Types and Character: Science or Myth? (1) 第5回 Blood Types and Character: Science or Myth? (2) 第6回 Blood Types and Character: Science or Myth? (3) 第7回 Depression and Suicide: A Preventable Tragedy (1) 第8回 Depression and Suicide: A Preventable Tragedy (2) 第9回 Depression and Suicide: A Preventable Tragedy (3) 第10回 The Dangers of Cannabis (1) 第11回 The Dangers of Cannabis (2) 第12回 Think Positive (1) 第13回 Think Positive (2) 第14回 後期のまとめ、全体のまとめ 第15回 定期試験	
進め方	演習を中心とした授業です。あらかじめ予習した内容について、まずは小グループに分かれ、その後全体での確認、議論、教員による説明等を行います。補足的に音声面や語彙強化の演習も取り入れます。受講生の積極的な授業参加を強く期待します。		
テキスト	『Quality of Life』園城寺康子他（著）、南雲堂	参考文献	授業中に紹介します
評価方法	出席:25% 授業参加:15% 定期試験:60%		

共通英語（人間）		通年 2 単位	1年
共通英語（人間）：オーストラリアの先住民について		杉田 弘也（すぎた ひろや）	
ねらい	共通英語では、英語を学ぶことはもちろんですが、英語を手段として内容への理解を深めることが重要です。この授業は、オーストラリアの先住民に関する英語の文献を読み、オーストラリアの先住民（主にアボリジナルの人々）への理解を深めるとともに、マイノリティーの置かれた立場や人種問題について共に考えていくことを目的としています。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクダクシヨシ 第2回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 1 第3回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 2 第4回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 3 第5回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 4 第6回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 5 第7回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 6 第8回 アボリジナルとは何か 第9回 アボリジナル民族 第10回 アボリジナルを定義する 第11回 アボリジナル人口 第12回 アボリジナルのドリーミング 第13回 アボリジナルと精霊 第14回 アボリジナルの土地の権利 1 第15回 アボリジナルの土地の権利 2	【後期】 第1回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 1 第2回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 2 第3回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 3 第4回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 4 第5回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 5 第6回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 6 第7回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 7 第8回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 8 第9回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 9 第10回 ラッド首相の謝罪スピーチを読む 10 第11回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 1 第12回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 2 第13回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 3 第14回 アボリジナルと現代オーストラリア社会 4 第15回 まとめ	
進め方	出席簿順に5～6名程度ずつ予習範囲を割り当てます。割り当てられた部分の訳を授業で発表できるよう準備してください。予習してきたものはその範囲終了後提出し、次の週に返却します。割り当てられた部分の提出は必須ですが、割り当てられた場所ではなくても自主的に予習して提出することを期待しています。		
テキスト	授業の都度配布します。	参考文献	
評価方法	予習:40% 予習の提出回数:20% 学年末レポート:40%		

共通英語（人間）		通年 2 単位	1年
A: 聖書の英語を学ぶ B: 人の一生についてマザーグースの唄とともに学ぶ		鶴見 典子（つるみ のりこ）	
ねらい	授業の前半で、人類永遠の古典、万人の書としての『聖書』の重要な名言、名句を学び『聖書』に親しむ機会としたい。後半では、イギリス人伝承の唄マザーグースがいかに人々の日常生活の溶け込み、英語の中に入り込んでいるかを学びつつ、英語力を伸ばしていきたい。		
授業計画	【前期】 第1回 A: In the Beginning B: Introduction 第2回 A: Mary B: British Balance 第3回 A: Glory B: Blitish Balance 第4回 A: My Beloved Son B: Birth 第5回 A: By Bread Alone B: Birth 第6回 A: The Beatitudes B: Birth 第7回 A: The Salt of the Earth B: Infancy 第8回 A: Love B: Infancy 第9回 A: The Bird in the Sky B: Infancy 第10回 A: The Lilies of the Field B: Childhood 第11回 A: Ask B: Childhood 第12回 A: Do to Others B: Childhood 第13回 A: The Narrow Gate--- The Lost sheep B: Childhood 第14回 A: The Parable of the Sower--- The Kingdom of God 第15回 定期試験	【後期】 第1回 A: The Man' s Ears B: Youth 第2回 A: The Kingdom of God B: Youth 第3回 A: The Widow' s Contribution B: Youth 第4回 A: Every Tree B: Growing Up 第5回 A: The Good Samaritan B: Growing Up 第6回 A: The One Who Humbles Himself B: Growing Up 第7回 A: Jesus and Little Children B: Middle Age 第8回 A: A Woman Caught in Adultery B: Middle Age 第9回 A: The Lord' s Supper B: Middle Age 第10回 A: The Crucifiction B: Old Age 第11回 A: The Death of Jesus B: Old Age 第12回 A: To His Disciples B: Epilogue 第13回 A: From Matthew, John, Mark, and Luke 第14回 A: Other Famous Sayings, The Lord' s Prayer 第15回 定期試験	
進め方	『聖書』については、予め分担を決めておくので、良い発表ができるよう、しっかり資料を整えて授業に臨むこと。マザー・グースを扱うテキストは、各自毎回きちんと予習をしてくること。訳の筆記に時間を費やすことのないよう、分からない箇所は、事前に明らかにしておき、授業中に確認して頂きたい。		
テキスト	A: Biblical Citations（南雲堂） B: Mother Goose' s Britain（朝日出版）	参考文献	
評価方法	定期試験:60% 提出物、発表、出席:40%		

共通英語（再履修クラス）		通年 2 単位	2・3年
映画で学ぶ英語		矢部 寿美子（やべ すみこ）	
ねらい	この授業では、前期・後期それぞれ映画を教材として取り上げ、英語を聞き取る耳を養い、会話表現や文化を幅広く学ぶ。日常生活で実際に使われる英語に慣れ、英語のコミュニケーション能力を強化すると共に、1960年代以降から現代のアメリカ社会における様々な問題や地域性・文化に対する理解を深める。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Introduction - Forrest Gump 第2回 Unit 1 : The Ku-Klux Klan 第3回 Unit 2 : Elvis Presley 第4回 Unit 3 : John F. Kennedy 第5回 Unit 4 : The Folk Song Movement 第6回 Unit 5 : The Vietnam War 第7回 Unit 6 : Vietnam War and PTSD 第8回 Test 第9回 Unit 7 : Hippies 第10回 Unit 8 : John Lennon 第11回 Unit 9 : Watergates 第12回 Unit 10 : Apple Computer 第13回 Unit 11 : Bicentennial Celebration 第14回 Unit 12 : AIDS 第15回 Test	<p>【後期】</p> 第1回 Introduction - I am Sam 第2回 Unit 1 : Lucy Diamond 第3回 Unit 2 : Not like other daddies 第4回 Unit 3 : Surprise 第5回 Unit 4 : Rita Harrison 第6回 Unit 5 : Pro Bono 第7回 Review 第8回 Test 第9回 Unit 6 : Free Lucy Dawson 第10回 Unit 7 : All you need is love 第11回 Unit 8 : Constasy and Patience 第12回 Unit 9 : Dessert with Rita 第13回 Unit 10 : We can work it out 第14回 Review 第15回 Test	
進め方	授業のはじめに映画の一部を見て概要をつかむ。その後、発音や語彙・表現を確認し、リスニングやペア・ワークや英作文を行う。最後にスクリプトを読み、理解を深める。毎回、簡単な単語テスト（20問）を行う。		
テキスト	『American History in Focus』マクミランランゲージハウス、2100円 『I am Sam』スクリーンプレイ、1200円	参考文献	
評価方法	クイズ:20% テスト:70% 出席:10%		

共通英語（社会と文化）		通年 2 単位	1年
アメリカの今を読む		江崎 聡子（えざき さとこ）	
ねらい	日本文化の需要と受容、ネット中毒、生命倫理、加熱する大学入試等、主に現代アメリカの社会や文化、そして日本との関係について書かれた多彩な英文テキスト（エッセイ、小説、新聞記事等）に触れることによって、現代のアメリカ事情の理解を深める。また同時に多様な種類のテキストを読むことによって読解能力の向上をめざす。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンス 第2回 Topic 1-1 第3回 Topic 1-2 第4回 Topic 1-3 第5回 Topic 4-1 第6回 Topic 4-2 第7回 Topic 4-3 第8回 Topic 8-1 第9回 Topic 8-2 第10回 Topic 8-3 第11回 Topic 13-1 第12回 Topic 13-2 第13回 Topic 13-3 第14回 予備日 第15回 期末試験	<p>【後期】</p> 第1回 ガイダンス（前期期末試験の返却と復習） 第2回 Topic 14-1 第3回 Topic 14-2 第4回 Topic 14-3 第5回 Topic 15-1 第6回 Topic 15-2 第7回 Topic 15-3 第8回 Topic 18-1 第9回 Topic 18-2 第10回 Topic 18-3 第11回 Topic 19-1 第12回 Topic 19-2 第13回 Topic 19-3 第14回 予備日 第15回 期末試験	
進め方	三回の授業で一章を読みきる予定である。受講者のみなさんにテキストの本文を日本語に訳してもらおう。章末の練習問題も含め、予習は授業参加の前提である。		
テキスト	Global View（朝日出版社、2007年） 夏目博明他編著	参考文献	授業中に適宜紹介する。
評価方法	試験:60% 出席:15% 授業態度:25%		

共通英語（社会と文化）		通年 2 単位	1年
異文化との比較でものの見方・考え方をつくる。		加賀屋 俊二（かがや しゅんじ）	
ねらい	現代の多様化した社会で一つの問題が全ての人にとって同じ価値であるはずがない。ある人にとって賛成である事柄が他の人にとって反対である場合が少なくない。個人や国家の利害、宗教問題、民族問題、人種問題の入り混じった現代社会は複雑怪奇である。そこに異文化が加わると一層複雑になる。本授業では異文化との比較で物事の見方考え方を		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス（授業の方法と学習の仕方etc.） 第2回 なぜ日本で英語を学ぶのか？（1） 第3回 英語学習はどう役立つか？（2）【翌週レポート提出】 第4回 文化とはなにか？ 第5回 異文化になにか？（2）【翌週レポート提出】 第6回 Animal Rights (1) 第7回 Animal Rights (2) 【翌週レポート提出】 第8回 Gambling (1) 第9回 Gambling (2) 【翌週レポート提出】 第10回 Dangerous Sports (1) 第11回 Dangerous Sports (2) 第12回 Sex-Based Pricing (1) 第13回 Sex-Based Pricing (2) 【翌週レポート提出】 第14回 Indecent TV (1) 第15回 Indecent TV (2) 【翌週レポート提出】	【後期】 第1回 夏休みの生活について、一人3分、英語で発表する。 第2回 Modern Art 第3回 Privacy (1) 第4回 Privacy (2) 【翌週レポート提出】 第5回 Corporal Punishment (1) 第6回 Corporal Punishment (2) 【翌週レポート提出】 第7回 Does God Exist? 第8回 Life Expectations 第9回 Overpopulation (1) 第10回 Overpopulation (2) 【翌週レポート提出】 第11回 The Death Penalty (1) 第12回 The Death Penalty (2) 【翌週レポート提出】 第13回 Medical Malpractice 第14回 Gay Marriages 【翌週レポート提出】 第15回 The Nation-State	
進め方	授業の主体は学生諸君であるから、毎回、数名の方を指名する。指名された方は、まず音読し、その後翻訳することになる。しっかりと予習しておくこと。必要に応じてテキストに現れた欧米の社会と文化について説明・解説すると共に、書かれている事柄について意見を求める。		
テキスト	<i>Issues: Pros and Cons</i> （『二つの視点』）朝日出版 ￥1,650 ISBN 4-255-15234-9 C1082	参考文献	特になし。
評価方法	複数の課題レポート:60% 授業中の小テスト:20% 授業中の発表:20%		

共通英語（社会と文化）		通年 2 単位	1年
共通英語（社会と文化）：オーストラリアの現代社会		杉田 弘也（すぎた ひろや）	
ねらい	共通英語では、英語を学ぶことはもちろんですが、英語の文章を手段としてその内容に対する理解を深めることが重要です。この授業では、オーストラリアについてその現代社会、文化や歴史に関する文献を読んでいます。観光地やめずらしい動物の宝庫だけではないオーストラリアについて、関心を持っていただければと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション 第2回 オーストラリアの人々 1 第3回 オーストラリアの人々 2 第4回 オーストラリアの土地と環境 第5回 オーストラリアの州と地域 第6回 オーストラリアの宗教、経済 第7回 オーストラリアを象徴するもの 1 第8回 オーストラリアを象徴するもの 2 第9回 オーストラリアとスポーツ： 1 第10回 オーストラリアとスポーツ： 2 第11回 オーストラリアのナショナリズムと国家の形成 1 第12回 オーストラリアのナショナリズムと国家の形成 2 第13回 オーストラリアのナショナリズムと国家の形成 3 第14回 オーストラリアの経済と政治 1 第15回 オーストラリアの経済と政治 2	【後期】 第1回 オーストラリアの先住民 1 第2回 オーストラリアの先住民 2 第3回 オーストラリアの先住民 3 第4回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 1 第5回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 2 第6回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 3 第7回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 4 第8回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 5 第9回 Australia' s dirty little secret by Ian Thorpe 6 第10回 オーストラリアの歴史 1 第11回 オーストラリアの歴史 2 第12回 オーストラリアの歴史 3 第13回 オーストラリアの歴史 4 第14回 オーストラリアの歴史 5 第15回 まとめ	
進め方	出席簿順に5～6名程度ずつ予習範囲を割り当てます。割り当てられた部分の訳を授業で発表できるよう準備してください。予習してきたものはその範囲終了後提出し、次の週に返却します。割り当てられた部分の提出は必須ですが、割り当てられた場所ではなくても自主的に予習して提出することを期待しています。		
テキスト	その都度配布します。	参考文献	
評価方法	予習:40% 予習の提出回数:20% 学年末レポート:40%		

共通英語（言語）		通年 2 単位	1年
英語と日本語の比較を通して文化について考える		石井 朋子（いしい ともち）	
ねらい	2つあります。1つ目は英文の読解力を高めることで、特に英文を前から理解していく練習をしていきます。2つ目はテキストを通して、言語やコミュニケーションについて学ぶことです。特に、英語と日本語の違い、そしてその奥にある文化の違いを知ることによって、それぞれの文化に対する理解を深めていけるといと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス 第2回 1. Age, Status, and Family 第3回 " (家族を表すことばとその国の文化) 第4回 2. Politeness 第5回 " (英米人の礼儀正しさの感覚とは) 第6回 3. Feedback 第7回 " (「あいづち」は日本人のストラテジー) 第8回 ここまでの復習 第9回 4. Rituals 第10回 " (なぜ、英語に「いただきます」はないのか) 第11回 5. Titles 第12回 " (「肩書き」からわかることばと文化の違い) 第13回 6. Modesty 第14回 " (「謙遜」は英米でも通用する美德である) 第15回 定期試験	【後期】 第1回 7. Heart-to-Heart Communication 第2回 " (主語と目的語がなくても通じる不思議) 第3回 8. Face-to-Face Communication 第4回 " (コミュニケーションは表情で事足りる) 第5回 9. Proverbs 第6回 " (ことわざに見る、日本語と英語の共通点) 第7回 ここまでの復習 第8回 11. Textbook Language 第9回 " (教科書英語はどこまで役に立つか) 第10回 13. Politically Correct Language 第11回 " (知っていても、使ってはいけないことば) 第12回 16. Reflections of Language and Culture 第13回 " (真の国際人になるために) 第14回 まとめ 第15回 定期試験	
進め方	基本的には、クラス全員で読む練習をした後、当たった人が英文の意味を答えるという形で授業を進めていきます。事前に訳の分担をすることはありませんので、誰が当たるかは分かりません。従って、いつ当たっても答えられるよう、毎週、全員が予習をしてきて下さい。また、授業には辞書を持ってください。		
テキスト	Paul Stapleton著 『How Culture Affects Communication (英米人の考え方、日本人の考え方——ことばに映る文化の違い)』 金星堂	参考文献	
評価方法	出席:15% 平常点:25% 定期試験:60%		

共通英語（言語）		通年 2 単位	1年
A: 口語表現を学ぶ。B: 英語の文化的背景を学ぶ。		鶴見 典子（つるみ のりこ）	
ねらい	言葉と文化の問題に焦点を当て、文化的ギャップ埋めていくことが、外国語習得において大切であるという趣旨で作られたテキストを使用する。英語に関する背景的・教養的知識を身につけつつ、外国語学習本来の目的である異なる文化の人々とのコミュニケーションのために学ぶことが出来るよう、自らを動機づけていく機会としたい。		
授業計画	【前期】 第1回 A: Unit 1 B: Beyond Words 第2回 A: Unit 2 B: Beyond Words 第3回 A: Unit 3 B: Beyond Words 第4回 A: Unit 4 B: Tell-tale Names 第5回 A: Unit 5 B: Tell-tale Names 第6回 A: Unit 6 B: Tell-tale Names 第7回 A: Unit 7 B: The Legacy of Place Names 第8回 A: Unit 8 B: The legacy of Place Names 第9回 A: Unit 9 B: The Legacy of Place Names 第10回 A: Unit 10 B: Folk Wisdom 第11回 A: Unit 11 B: Folk Wisdom 第12回 B: Folk Wisdom 第13回 B: Folk Wisdom 第14回 ビデオを見る 第15回 定期試験	【後期】 第1回 A: Unit 12 B: Gods and Goddesses 第2回 A: Unit 13 B: Gods and Goddesses 第3回 A: Unit 14 B: Gods and Goddesses 第4回 A: Unit 15 B: The Christian Tradition 第5回 A: Unit 16 B: The christian Tradition 第6回 A: Unit 17 B: The Christian Tradition 第7回 A: Unit 18 B: The Literary Tradition 第8回 A: Unit 19 B: The Literary Tradition 第9回 A: Unit 20 B: The Literary Tradition 第10回 A: Unit 21 B: The World of Make-believe 第11回 A: Unit 22 B: The World of Make-believe 第12回 B: The World of Make-believe 第13回 ビデオを見る 第14回 総仕上げ 第15回 定期試験	
進め方	授業前半20分でAのテキストを学ぶ。後半でBのテキストを読み進めるが、各自毎回きちんと予習をしてもらうこと。訳の筆記に時間を費やすことのないよう、分からない箇所は、事前に明らかにしておき、授業中に確認していただきたい。		
テキスト	A: ToEIC Test Listening (南雲堂) B: The Background of English (成美堂)	参考文献	
評価方法	定期試験:60% 提出物、発表、出席:40%		

共通英語（生命と自然）		通年 2 単位	1年
構造で読む自然科学エッセイ		木村 さなえ（きむら さなえ）	
ねらい	英文の構造の特徴に注意を払いながら、身近な自然科学の話題を読んでいきます。2回の講義で1課を読んで行く予定です。英語に苦手意識を持つ方でも、これから新たな気持ちで慣れていきましょう。毎回講義の初めに、聞き取り練習も行い、英語の聴解力増強も図っていきます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 オリエンテーション 第2回 主教材 Unit 1、副教材 Exercise 1 第3回 Unit 1, Exercise 2 第4回 Unit 2, Exercise 3 第5回 Unit 2, Exercise 4 第6回 Unit 3, Exercise 5 第7回 Unit 3, Exercise 6 第8回 Unit 4, Exercise 7 第9回 Unit 4, Exercise 8 第10回 Unit 5, Exercise 9 第11回 Unit 5, Exercise 10 第12回 Unit 6, Exercise 11 第13回 Unit 6, Exercise 12 第14回 Review Period 第15回 Examination	<p>【後期】</p> 第1回 Overall Review of the 1st-term Examination 第2回 Unit 7, Exercise 13 第3回 Unit 7, Exercise 14 第4回 Unit 8, Exercise 15 第5回 Unit 8, Exercise 16 第6回 Unit 9, Exercise 16 第7回 Unit 9, Exercise 17 第8回 Unit 10, Exercise 18 第9回 Unit 10, Additional Material 1 第10回 Unit 11, Additional Material 2 第11回 Unit 11, Additional Material 3 第12回 Unit 12, Additional Material 4 第13回 Unit 12, Additional Material 5 第14回 Review Period 第15回 Examination	
進め方	授業の初めの10分間ほどを聴解練習にあて、これをもって平常点とします。よって遅刻は厳禁。続いて講読とします。テキスト本文の後に設問もあるため、各自積極的に予習に取り組んで授業に臨むこと。毎回全員が訳もしくは解答をすることになります。活発な授業参加を期待します。		
テキスト	<i>Concepts and Comments</i> P. Ackert & L. Lee, Shohakusha <i>Active Listening</i> R. Northridge & A. Tanaka, Seibido	参考文献	
評価方法	平常点(=出席):20% 前期末定期試験:40% 学年末定期試験:40%		

共通英語（生命と自然）		通年 2 単位	1年 国文・家政・芸術
木11限(J1 H1 A1) <i>The Times</i> と <i>The Guardian</i> の論説を読む。		海琳 泰子（みたま やすこ）	
ねらい	英国の代表的な二紙 <i>The Times</i> と <i>The Guardian</i> から医療 環境をテーマにした論説を12編選んで作られたテキストを読む。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 BBC World のニュースの聞き取り提出 推薦映画 第2回 ニュースの聞き取り提出 1. 抗うつ剤依存 第3回 ニュースの聞き取り提出 同上 第4回 ニュースの聞き取り提出 2. 移動診療 第5回 ニュースの聞き取り 同上 第6回 ニュースの聞き取り 3. ファッションモデル 第7回 BBC Worldのニュースの聞き取り 同上 第8回 BBC Worldのニュースの聞き取り 同上 第9回 BBC World のニュースの聞き取り 4. 合成生物学 第10回 BBC World のニュースの聞き取り 同上 第11回 BBCWorldのニュースの聞き取り 5. 人体冷凍保存 第12回 BBC Worldのニュースの聞き取り 同上 第13回 BBC Worldのニュースの聞き取り 6. ゲーム機 第14回 BBC Worldのニュースの聞き取り 同上 第15回 まとめ 定期試験	<p>【後期】</p> 第1回 BBC World のニュースの聞き取り提出 7. 環境保存 第2回 BBC World のニュースの聞き取り提出 同上 第3回 ニュースの聞き取り提出 8. 英国マクドナルド 第4回 BBC World のニュースの聞き取り提出 同上 第5回 BBC Worldのニュースの聞き取り 同上 第6回 ニュース聞き取り 9. デビアスのアフリカ支援 第7回 BBC World のニュースの聞き取り 同上 第8回 BBC World のニュースの聞き取り 10. エアバス社 第9回 BBC World のニュースの聞き取り 同上 第10回 BBC World のニュースの聞き取り 11. 0-157汚染 第11回 BBC World のニュースの聞き取り 同上 第12回 BBC World のニュースの聞き取り 12. バイオ燃料 第13回 BBC World のニュースの聞き取り 同上 第14回 BBC World のニュースの聞き取り 同上 第15回 まとめ 定期試験	
進め方	授業最初の20分間はBBCWorldのニュースの聞き取り。年間8回提出、採点。次週に解説(地理、紛争の歴史等)。テキストはパラグラフ毎の要約を授業中に作成。Exercisesは学生が起立し大きな声で解答。新聞の科学欄のテキスト関連の記事(電子版も可)のファイルを作ること。長期欠席は届けを提出すること。定期試験欠試は不可。		
テキスト	田中孝信 筒井香代子 野田三貴編著 <i>Reading the World through The Times and The Guardian</i> 音羽書房鶴見書店	参考文献	
評価方法	定期試験:60% ニュースの聞き取り:20% 授業中の解答:10% 出席:10%		

共通英語（生命と自然）		通年 2 単位	1年 教養・子ども
木11限(L1 C1) 最新の科学、医療情報を論理的思考の表現に最適な英語でいかに正確に、日常生活に取り入れていくか。		海琳 泰子（みたま やすこ）	
ねらい	建築鳥、外来種、南極の生物、風力発電等、バラエティにとんだ科学エッセイを15編読む。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 推薦映画 BBCWorldのニュースの聞き取り提出 第2回 同上 1. Welcome to My Bower 第3回 ニュースの聞き取り提出 同上 第4回 ニュースの聞き取り提出 2. Memory 第5回 ニュースの聞き取り 同上 第6回 ニュースの聞き取り 3. Exotic Species 第7回 ニュースの聞き取り 同上 第8回 ニュースの聞き取り 4. Smells Like Trouble 第9回 ニュースの聞き取り 同上 第10回 ニュースの聞き取り 5. Roller Coaster 第11回 ニュースの聞き取り 同上 第12回 ニュースの聞き取り 6. Seven Sisters 第13回 同上 7. Danger-detecting Animals 第14回 ニュースの聞き取り 同上 第15回 まとめ 定期試験	<p>【後期】</p> 第1回 BBC World 8. Denizens of Antarctica 第2回 BBC World 9. Mathematical Bridge 第3回 BBC World 10. The Path of Adobe 第4回 BBC World のニュース聞き取り提出 同上 第5回 提出 11. Sky Watchers 第6回 ニュースの聞き取り 同上 第7回 ニュースの聞き取り 12. One-Celled Wonder 第8回 ニュースの聞き取り 同上 第9回 ニュースの聞き取り 13. Coral Reef 第10回 ニュースの聞き取り 同上 第11回 ニュースの聞き取り 14. Wind Power 第12回 ニュースの聞き取り 同上 第13回 ニュースの聞き取り 15. Moon Rocks 第14回 ニュースの聞き取り 同上 第15回 まとめ 定期試験	
進め方	授業最初の20分間はBBCWorldのニュースの聞き取り。年間8回提出、採点。次週に解説(地理、紛争の歴史等)。テキストはパラグラフ毎の要約を授業中に作成。講演コーナーでListeningの力、発表力をつける。長期欠席は届けを提出すること。定期試験欠試は不可。		
テキスト	Kevin Cleary 野崎嘉信 松本和子 著 <i>Science Square</i> 成美堂	参考文献	
評価方法	定期試験:60% ニュースの聞き取り:20% 授業中の解答:10% 出席:10%		

共通英語（基礎）		通年 2 単位	1年
英文法の根本的解説		井伊 順彦（いい のぶひこ）	
ねらい	外国語に関しては、かなり成績のよい学生でも、いざ文法の細かい点まで問われると、意外に知らない場合が多い。本授業では、文法の項目を多く含み、かつ素直な文体で書かれた教科書を読みながら、文法を基礎の基礎から復習してゆく。声に出して文を読む機会も多く設けたい。英文法の諸項目を論理的に納得できる域にまで達することをめざす。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業内容の説明および印刷物を配布しての紹介授業 第2回 前回配布した印刷物を用いての通常授業 第3回 上記印刷物および教科書を用いての通常授業 第4回 教科書を用いての通常授業 第5回 同上 第6回 同上（理解の程度を確認するためのレポートの指示） 第7回 同上（補助プリントを配布しての解説） 第8回 同上 第9回 同上（上記レポートの提出） 第10回 同上 第11回 同上（小テストもおこなう予定） 第12回 同上（上記小テストの返却および解説） 第13回 同上 第14回 同上 第15回 同上（前期の状況を振り返り、今後の学習指導をする）	<p>【後期】</p> 第1回 同上（夏休み中の勉強ぶりを確認する小テスト） 第2回 同上 第3回 同上 第4回 同上 第5回 同上（ここまでの段階で気づいた自分の弱点の確認） 第6回 同上（補助プリントを配布しての解説） 第7回 同上 第8回 同上 第9回 同上 第10回 同上（小テスト） 第11回 同上 第12回 同上 第13回 同上 第14回 同上（今後の勉強方法についての指示） 第15回 試験	
進め方	最初から自分のあいだは教師による文法の解説。そののち、授業ごとに、前もって指名された数名の受講生が、各自の担当箇所を読んで訳す。その際には発音も気をつける。訳したのちに、まず英米人の声をレコーダで再生して、同じ箇所に関する正確な発音を全員で確認し、ついで主として文法に関する教師の質問に担当者が答える。		
テキスト	教室で指示する。	参考文献	必要に応じて教室で指示する。
評価方法	平常点:30% 小テスト（予定）:10% 試験:25% 貢献（教室で説明）:15% 出席:20%		

共通英語（基礎）		通年 2 単位	1年
英文法と英文読解の基礎		黒岩 裕（くろいわ ゆたか）	
ねらい	英文法の基礎として、まず初めに2つのこと学びます。1つは品詞と5文型、もう1つは修飾と被修飾の関係です。これらの基礎の確認を通して、文の意味は、個々の単語の意味だけでなく、単語同士の関係性でつくられていることを理解します。その後、重要な文法事項を確認しながら、平易な英文を読んで、読解能力を養います。		
授業計画	【前期】 第1回 英語の学習方法について 第2回 品詞 1 第3回 品詞 2 第4回 5文型 1 第5回 5文型 2 第6回 修飾・被修飾の関係 1 第7回 修飾・被修飾の関係 2 第8回 完了形 1 第9回 完了形 2 第10回 助動詞 1 第11回 助動詞 2 第12回 態 1 第13回 態 2 第14回 前期のまとめ 第15回 前期試験	【後期】 第1回 不定詞 1 第2回 不定詞 2 第3回 分詞 1 第4回 分詞 2 第5回 動名詞 1 第6回 動名詞 2 第7回 比較 1 第8回 比較 2 第9回 関係詞 1 第10回 関係詞 2 第11回 関係詞 3 第12回 仮定法 1 第13回 仮定法 2 第14回 後期のまとめ 第15回 後期試験	
進め方	解説を中心に授業を進めますが、何か分からないことがあれば積極的に質問してください。英文法の基礎をしっかりと定着させるため、音読も取り入れます。既習事項の確認のため、適宜小テストを行います。		
テキスト	Basic English Grammar with Short Readings（朝日出版）	参考文献	適宜紹介します。
評価方法	出席:10% 小テスト・課題:10% 前期試験:40% 後期試験:40%		

共通英語（基礎）		通年 2 単位	1年
英語の特徴をつかむ		鈴木 千加子（すずき ちかこ）	
ねらい	アメリカの社会・文化に関する簡単なエッセーを読みながら、高校までに習得した英文法知識を再考し、それを応用しながら日常生活で用いられている英語の慣用表現や語法を身に付けることを目的とします。よく使われる慣用表現などをカードに書き留め、暗誦していく方法も取り入れて、基本的な英文を間違いなく理解し、駆使出来ることを目指します		
授業計画	【前期】 第1回 オリエンテーション 第2回 言葉のパーツ 「品詞」 第3回 話す目的 「肯定文・否定文・疑問文・命令文・感嘆文」 第4回 英語は時間にきっちりしている 「時制・進行形」 第5回 文を作るレシピ 「基本5文型」 第6回 英語らしい表現 「第5文型」その1 第7回 英語らしい表現 「第5文型」その2 第8回 英文理解第一歩 「主語と動詞の一致」 第9回 代表的な機能語 「前置詞」 第10回 文の中の文 「従属節」 第11回 過去の出来事が今に及ぶ 「現在完了」 第12回 過去・未来を基点とした完了形 「過去完了・未来完了」 第13回 スルとサレルの違い 「受動態」 第14回 まとめ 第15回 中間考査	【後期】 第1回 サセル対シテモラウ 「使役形」 第2回 見る・聴く・感じる 「知覚動詞」 第3回 話し手の心情を表す 「法助動詞」 第4回 モンモの世界 「仮定法」 第5回 名詞を文で修飾 「関係節」 第6回 副詞類を文で修飾 「関係副詞」 第7回 名詞を修飾する分詞 「分詞修飾」 第8回 諸語と接続詞が隠されている 「分詞構文」 第9回 機能後としての役割 「冠詞」その1 第10回 話し手のものの見方を伝える 「冠詞」その2 第11回 動詞のジョーカー 「不定詞」 第12回 頭でっかちな主語は後ろに 「形式主語」 第13回 比べる相手は後から足す 「比較級・最上級」 第14回 まとめ 第15回 期末考査	
進め方	演習方式で行います。習得の過程で(特に文法上の)構文解釈や英語特有の表現法に難儀が生じる場合は、種々の例を挙げながらその説明に時間を割く予定ですので、必ずしも上記の授業計画通りに進むとは限らないことを了承してください。また、テキストと共に、毎回必ず辞書を持参して下さい。		
テキスト	A New approach to Understanding English Grammar（朝日出版） その他プリント配布	参考文献	
評価方法	授業内での質疑応答:20% レポート・小テスト:20% 定期考査:60%		

共通英語（基礎）		通年 2 単位	1年
英文法と英文読解の基礎		藤村 待子（ふじむら まちこ）	
ねらい	英語で書かれた文章を正確に読んでいくための知識、技術を学ぶことを目標とします。授業では、読解の前提となる文法についての知識を丁寧に確認していきます。また、人権や環境問題について書かれた短い英文を読み、英語を様々な角度から読み解くための手掛かりについても触れていきたいと思っています。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 文型(1) 第3回 文型(2) 第4回 文型(3) 第5回 代名詞(1) 第6回 代名詞(2) 第7回 助動詞(1) 第8回 助動詞(2) 第9回 態(1) 第10回 態(2) 第11回 不定詞(1) 第12回 不定詞(2) 第13回 動名詞(1) 第14回 動名詞(2) 第15回 前期試験	【後期】 第1回 分詞(1) 第2回 分詞(2) 第3回 関係詞(1) 第4回 関係詞(2) 第5回 名詞 第6回 冠詞 第7回 進行形 第8回 完了形(1) 第9回 完了形(2) 第10回 比較(1) 第11回 比較(2) 第12回 仮定法(1) 第13回 仮定法(2) 第14回 修飾と非修飾の関係 まとめ 第15回 後期試験	
進め方	教科書以外に適宜プリントも配布いたします。テキストやプリントの説明が中心になりますが、なるべく皆さんに発言していただく機会を多く設けたいと思っています。また授業内容は、受講者の興味・理解度に応じて、柔軟に修正していきたくと思っていますので、どうぞ積極的に授業に参加してください。		
テキスト	Keiichiro Fukui and Chikara Kato著 <i>Basic English Grammar with Short Readings</i> (『読むための基礎英文法』朝日出版社)	参考文献	授業中に適宜紹介いたします。
評価方法	出席・授業への参加:20% 小テスト・課題:10% 前期試験:35% 後期試験:35%		

共通英語（再履修クラス）		通年 2 単位	2・3年
:英語を実践的、理論的、体系的に学ぶ		鶴見 典子（つるみ のりこ）	
ねらい	英語の常識が身につくトレーニングを行う。TOEICテストなどの試験にも対処できるよう、英文法を軸として体系的に学んでいきたい。また、TOEICテスト形式にのっとったリスニングのテキストも使用して、総合的な英語力をつけるチャンスとしていただきたい。		
授業計画	【前期】 第1回 A: Chapter 1 B: Unit 1 第2回 A: Chapter 2 B: Unit 1 第3回 A: Chapter 3 B: Unit 2 第4回 A: Chapter 4 B: Unit 2 第5回 A: Chapter 5 B: Unit 3 第6回 A: Chapter 6 B: Unit 3 第7回 A: Chapter 7 B: Unit 4 第8回 A: Chapter 8 B: Unit 4 第9回 A: Chapter 9 B: Unit 5 第10回 A: Chapter 10 B: Unit 5 第11回 A: Chapter 11 B: Unit 6 第12回 B: Unit 6 第13回 B: Unit 7 第14回 B: Unit 7 第15回 定期試験	【後期】 第1回 A: Chapter 12 B: Unit 8 第2回 A: Chapter 13 B: Unit 8 第3回 A: Chapter 14 B: Unit 9 第4回 A: Chapter 15 B: Unit 9 第5回 A: Chapter 16 B: Unit 10 第6回 A: Chapter 17 B: Unit 10 第7回 A: Chapter 18 B: Unit 11 第8回 A: Chapter 19 B: Unit 11 第9回 A: Chapter 20 B: Unit 12 第10回 A: Chapter 21 B: Unit 12 第11回 A: Chapter 22 B: Unit 13 第12回 B: Unit13 第13回 B: Unit 14 第14回 B: Unit14 第15回 定期試験	
進め方	授業の前半でリスニングを行う。後半で、表現力、文法力をつけるテキストで、学んでいきたい。		
テキスト	English Grammar for College Students (英光社) Toeic Test Listening(南雲堂)	参考文献	
評価方法	定期試験:50% 小テスト出席授業態度:50%		

英語 I (Reading and Writing)		通年 2 単位	1年
Writing Practice		木村 さなえ (きむら さなえ)	
ねらい	Students are expected to 1)prepare by reading and answering questions in the textbook at home, 2) participate actively in the classroom, and 3)review what they have learned in the classroom at home after every lesson. By doing this, they will be able to write what they would like to express in English easily.		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Introduction 第2回 Exercise 1, Getting the Main Idea 第3回 Exercise 2, Phrase Reading 第4回 Exercise 3, Paragraph Reading 第5回 Exercise 4, Space Order 1 第6回 Exercise 5, Space Order 2 第7回 Exercise 6, Time Order 1 第8回 Exercise 7, Time Order 2 第9回 Exercise 8, Process and Direction 1 第10回 Exercise 9, Process and Direction 2 第11回 Exercise 10, Facts and Examples 1 第12回 Exercise 11, Facts and Examples 2 第13回 Exercise 12, Definition 1 第14回 Exercise 13, Definition 2 第15回 Overall Review	<p>【後期】</p> 第1回 Exercise 14, Classification 1 第2回 Exercise 15, Classification 2 第3回 Exercise 16, Comparison and Contrast 1 第4回 Exercise 17, Comparison and Contrast 2 第5回 Exercise 18, Analogy 1 第6回 Exercise 19, Analogy 2 第7回 Exercise 20, Reasons, Causes and Effects 1 第8回 Exercise 21, Reasons, Causes and Effects 2 第9回 Exercise 22, Description 1 第10回 Exercise 23, Description 2 第11回 Narrative 1 第12回 Narrative 2 第13回 Practical Writing 1 第14回 Practical Writing 2 第15回 Overall Review	
進め方	The first 10 minutes will be for the listening quiz. Therefore, don't be late for the class. As for the main text, after the students finish reading the material, 'essay' type of assignment will be given. There will be NO written final exams. Instead, the writing assignment will be given almost every other week.		
テキスト	<i>Active Listening</i> R. Northridge & A. Tanaka, <i>Seibido, A Guide to Paragraph Reading</i> M. Hashimoto & J. Taniguchi, Asahi Press	参考文献	
評価方法	the listening quiz :20% class participation:30% writing assignment:50%		

英語 I (Reading and Writing)		通年 2 単位	1年
リーディング・ライティングを中心に実践力を身につけることの楽しさ		佐久間 晶子 (さくま あきこ)	
ねらい	学習した語彙・表現・文法を積極的にReadingとWritingに使うことを授業のなかで訓練していく。パラグラフごとの要旨をまとめ、パラグラフの構成やパラグラフ相互の関係について学ぶ。このことによって、英文をそのまま英文として理解できるようになることを目指したい。日本文化の魅力が英語で発信する訓練もこの授業の特徴のひとつ		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 Orientation:前期の授業方針、クラスルール 第2回 Unit 1: Have I Found Ms. Right? 第3回 Unit 1: Have I Found Ms. Right? 第4回 Unit 2: How Good Is Your Memory? 第5回 Unit 2: How Good Is Your Memory? 第6回 Unit 3: The History of Time-Keeping 第7回 Unit 3: The History of Time-Keeping 第8回 Unit 4: Endangered Species 第9回 Unit 4: Endangered Species 第10回 Unit 5: Travel Manners 第11回 Unit 5: Travel Manners 第12回 Unit 6: What Does a Million Dollars Buy? 第13回 Unit 6: What Does a Million Dollars Buy? 第14回 前期末試験 第15回 試験返却・前期総括・夏休みの課題	<p>【後期】</p> 第1回 Unit 7: Earth's Mysterious Places 第2回 Unit 8: Is an Only Child a Lonely Child? 第3回 Unit 9: Homeschooling 第4回 Unit 10: The Segway 第5回 Unit 10: The Segway 第6回 Unit 11: What Constitutes Art? 第7回 Unit 11: What Constitutes Art? 第8回 Unit 12: Avoiding Cultural Taboos 第9回 Unit 12: Avoiding Cultural Taboos 第10回 Unit 13: Robotic Surgeons 第11回 Unit 13: Robotic Surgeons 第12回 Unit 14: The Challenges of Space Travel 第13回 Unit 15: Changing Roles 第14回 後期末試験 第15回 試験返却と総括	
進め方	授業の前半は、リーディング技術の習得に集中する。語彙を増やし、速読のスキルと要約のスキルを確認し、設問に答え、文章の理解力を深めることを目指す。後半では、ライティング技術の訓練に時間を費やす。自分の考えをまとめ、表現する練習を積み重ねる。日本語と英語の発想の差異や「つなぎ言葉」を学習しながら、書く作業を実践していく。		
テキスト	<i>Advanced Skills for Reading</i> Neil J. Anderson & 川又正之著 成美堂、1,700円	参考文献	授業中に紹介します。
評価方法	試験:50% 発表 :40% 出席:10%		

英語 I (Reading and Writing)		通年 2 単位	1年
英語読解における勘の排除		菅野 昌彦 (すがの まさひこ)	
ねらい	英文読解がどうしても不得意である学生に、どの辺に自分の弱点があるのかを尋ねても、自分自身理解していない学生がとても多い。 それを知るためにもシステムである言語が、どのように構築されているのかを理解することから始めたいです。		
授業計画	【前期】 第1回 guidance 第2回 pre-position and post-positon 第3回 word order 第4回 case-marking 第5回 phrase 第6回 noun clause 第7回 adjective clause 第8回 adverbial clause 第9回 conjunction 第10回 sentence 1 第11回 sentence 2 第12回 paragraph 1 第13回 paragraph 2 第14回 review 第15回 test	【後期】 第1回 guidance 第2回 practice 第3回 practice 第4回 practice 第5回 practice 第6回 practice 第7回 practice 第8回 practice 第9回 practice 第10回 practice 第11回 practice 第12回 practice 第13回 practice 第14回 review 第15回 test	
進め方	できる限りいろいろなジャンルの内容を読んでいきたいと思っています。又、いかなる質問も歓迎します。		
テキスト	プリント使用。	参考文献	特に無し。
評価方法	出席率:10% 試験:90%		

英語 I (Reading and Writing)		通年 2 単位	1年
英語読み書きのストラテジー		鈴木 千加子 (すずき ちかこ)	
ねらい	英文の内容を把握するために必要なスキルを、興味深いトピックを読みながら学んでゆく英文読解力養成講座です。そのための必要なスキルを段階的に種々の学習法を通して習得し、文脈内容を難なく把握することを目指します。テキストとして、困難を克服して成功した父親が娘につづった愛情溢れるエッセイを使用します。		
授業計画	【前期】 第1回 Orientation 第2回 Chapter 1 Happy Thoughts for Future (1) 第3回 Chapter 2 Happy Thoughts for Future (2) 第4回 Chapter 3 Happy Thoughts for Future (3) 第5回 まとめ 第6回 Chapter 4 Smoking and the Risk to Women' s Lungs (1) 第7回 Chapter 5 Smoking and the Risk to Women' s Lungs (2) 第8回 Chapter 6 Smoking and the Risk to Women' s Lungs (3) 第9回 まとめ 第10回 Chapter 7 Alcohol, the ' Asian Flush' (1) 第11回 Chapter 8 Alcohol, the ' Asian Flush' (2) 第12回 Chapter 9 Alcohol, the ' Asian Flush' (3) 第13回 まとめ 第14回 Review プリント問題 第15回 Test	【後期】 第1回 Chapter 10 A Simpler Way to Save life (1-1) 第2回 Chapter 10 A Simpler Way to Save life (1-2) 第3回 Chapter 11 A Simpler Way to Save life (2-1) 第4回 Chapter 11 A Simpler Way to Save life (2-2) 第5回 Chapter 12 A Simpler Way to Save life (3-1) 第6回 Chapter 12 A Simpler Way to Save life (3-2) 第7回 まとめ 第8回 Chapter 13 A Combination Pill (1-1) 第9回 Chapter 13 A Combination Pill (1-2) 第10回 Chapter 14 A Combination Pill (2-1) 第11回 Chapter 14 A Combination Pill (2-2) 第12回 Chapter 15 A Combination Pill (3-1) 第13回 Chapter 15 A Combination Pill (3-2) 第14回 まとめ 第15回 Test	
進め方	演習形式で行います。講読の過程で(特に文法上の)構文解釈や英語特有の表現法の理解に難儀が生じる場合は、種々の例を挙げながらその説明に多少の時間を割く予定ですので、必ずしも上記の授業計画通りに進むとは限らないことを了承して下さい。また、テキストと共に毎回、必ず辞書を持参して下さい。		
テキスト	Reading and Writing Power (都文堂出版)	参考文献	
評価方法	授業内での質疑応答:20% レポート・小テスト:20% 定期考査:60%		

英語Ⅱ (Listening and Speaking)		通年 2 単位	1年
Public Speech		ウィルソン (WILSON, J. S.)	
ねらい	Learning how to give public speeches in English.		
授業計画	【前期】 第1回 Class and Course Introduction 第2回 Self-Introduction Speech 第3回 Self-Introduction Speech 第4回 Self-Introduction Speech 第5回 Self-Introduction Speech 第6回 Introducing Someone 第7回 Introducing Someone 第8回 Introducing Someone 第9回 Introducing Someone 第10回 Demonstration Speech 第11回 Demonstration Speech 第12回 Demonstration Speech 第13回 Demonstration Speech 第14回 Layout Speech 第15回 Layout Speech	【後期】 第1回 Layout Speech 第2回 Layout Speech 第3回 Book and Movie Reviews 第4回 Book and Movie Reviews 第5回 Book and Movie Reviews 第6回 Book and Movie Reviews 第7回 Show and Tell Speech 第8回 Show and Tell Speech 第9回 Show and Tell Speech 第10回 Show and Tell Speech 第11回 Speech for Presenting and Accepting Awards 第12回 Speech for Presenting and Accepting Awards 第13回 Speech for Presenting and Accepting Awards 第14回 Final Speech 第15回 Final Speech	
	Students will work individually, in pairs, in groups and interactively with the teacher. The textbook will be used in class, but some exercises may be assigned as homework. Students will give a minimum of seven speech presentations over the course of the year.		
テキスト	"Getting Ready for Speech" by Charles LeBeau and David Harrington, pub. Language Solutions Inc., (2002), ISBN1-929274-45-9	参考文献	Students must bring an English or English/Japanese dictionary to each lesson. The teacher will supply supplemental materials as required.
評価方法	Attendance:30% In-class participation / homework:40% Speech presentations:30%		

英語Ⅱ (Listening and Speaking)		通年 2 単位	1年
Developing oral communication skills through role-play, presentations and multimedia.		プラット (PLATT, I. R.)	
ねらい	The aims of the course are: a) to develop students' self-confidence and English fluency in everyday situations, b) to be able to respond appropriately and express ideas, opinions, and feelings in a variety of ways, c) to practise becoming an independent learner, d) to learn basic presentation skills.		
授業計画	【前期】 第1回 Course orientation: Using the lab 第2回 Using the self-access internet material 第3回 Introductions: Self introductions, 第4回 Introducing others 第5回 Informal/formal introductions 第6回 Starting Conversations: Conversation openings 第7回 Making small talk 第8回 Making small talk 第9回 Developing Conversations: Asking questions 第10回 Asking follow-up questions 第11回 Rebounding questions, responding 第12回 Invitations and Suggestions: Making these 第13回 Responding to invitations, negotiating details 第14回 Altering plans 第15回 Review	【後期】 第1回 Likes and Dislikes: Talking about likes and dislike 第2回 Stating preferences 第3回 Expressing emotions and feelings 第4回 Requests: Asking for things, 第5回 Asking someone to do something, offering to do somet 第6回 Opinions: Asking for and giving opinions 第7回 Opinions: Asking for and giving opinions 第8回 Opinions, reasons and evidence 第9回 Agreeing and disagreeing with opinions 第10回 Advice: Asking for advice, giving advice 第11回 Responding to advice 第12回 Review 第13回 Presentations 第14回 Presentations 第15回 Presentations	
	The DVD segments form the basis of pair and group work and students use the net exercises as homework to develop and reinforce learning and acquisition. In parallel, development of some presentation skills and techniques culminating in a series of presentations will aid larger-group work. Absences will prejudice		
テキスト	Title: The English Course – Speaking Book 1. Authors & Publishers: Ireland Murphy Woollerton Publishing (Tokyo 2009) ISBN978-49902962-2-3	参考文献	
評価方法	Class participation:40% Work outside class:40% Presentation/test:20%		

英語Ⅱ (Listening and Speaking)		通年 2 単位	1年
English using children's storybooks (児童書・絵本を使用 しての英語授業)		吉田 裕子・リナ (よしだ ひろこ りな)	
ねらい	This 4-skills course looks at various elements, especially language features used in English children's storybooks. The final project of the course is for each student to create her original children's storybook using the language features learned, and present to the class.		
授業計画	【前期】 第1回 Class orientation 第2回 Focusing on rhyme 第3回 Focusing on rhyme (continued) 第4回 Focusing on rhyme (continued) 第5回 Focusing on alliteration 第6回 Focusing on alliteration (continued) 第7回 Focusing on alliteration (continued) 第8回 Focusing on onomatopoeia 第9回 Focusing on onomatopoeia (continued) 第10回 Focusing on onomatopoeia (continued) 第11回 Review activities 第12回 Book Look #1 第13回 Poem presentations 第14回 Book Look #2 第15回 Review activities	【後期】 第1回 Focusing on articles 第2回 Focusing on articles (continued) 第3回 Focusing on writing style 第4回 Focusing on writing style (continued) 第5回 Focusing on story writing 第6回 Focusing on story writing (continued) 第7回 Writing a story review 第8回 Focusing on nursery rhymes 第9回 Focusing on nursery rhymes (continued) 第10回 Review activities 第11回 Preparation for final project 第12回 Preparation for final project 第13回 Storybook presentation 第14回 Peer Book Look 第15回 Feedback & wrap-up session	
進め方	この授業は英語で行われます。英語の児童書・絵本を使用して4技能(話・聞・書・読)を磨くユニークな英語授業です。最終課題は授業内で紹介された“language features”をもとにして、英語のオリジナル児童絵本を各自で作成し、発表します。◆出席重視のクラスです。最低限必要な出席率：2/3 (前期・後期各2/3)		
テキスト	Information will be given in class.	参考文献	Information will be given in class.
評価方法	Homework:20% Poem presentation:20% Storybook project:30% Participation:10% Attendance:20%		

英語Ⅱ (Listening and Speaking)		通年 2 単位	1年
英語Ⅱ (Listening and Speaking)		涌井 陽子 (わくい ようこ)	
ねらい	In this class, you will gain confidence in using English by developing all four skills, especially listening and speaking. Those who would like to be confident in listening and speaking English are encouraged to register.		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction 第2回 Back to the Future Ⅲ 第3回 Back to the Future Ⅲ 第4回 Cinderella 第5回 Cinderella 第6回 Harry Potter 第7回 Harry Potter 第8回 I am Sam 第9回 I am Sam 第10回 Kiki's Delivery Service 第11回 Kiki's Delivery Service 第12回 Last Samurai 第13回 Last Samurai 第14回 Research 第15回 Presentation	【後期】 第1回 Review & Discussion 第2回 My Neighbor, Totoro 第3回 My Neighbor, Totoro 第4回 Roman Holidays 第5回 Roman Holidays 第6回 The Sound of Music 第7回 The Sound of Music 第8回 Titanic 第9回 Titanic 第10回 Westside Story 第11回 Westside Story 第12回 Research 第13回 Research 第14回 Rehearsal 第15回 Presentation	
進め方	You will enjoy many kinds of music and films using DVDs and the Internet. You will perform a play as the last project using the skills you have learned in this class. It will be possible for students to choose their favorite films.		
テキスト	There will be no set textbooks for this class. All handouts will be provided by the teacher.	参考文献	It will be informed later in the course.
評価方法	Attendance :20% Presentation 1:20% Presentation 2:20% Homework:20% Attitude:20%		

英語Ⅲ (English for Specific Purposes)		通年 2 単位	1年
アカデミック・イングリッシュの基礎を学ぶ		尾嶋 万紀 (おじま まき)	
ねらい	本授業では、大学生活やアカデミックな場面において必要とされる英語力を総合的に高めることを目標とします。キャンパス内で交わされる日常会話や学術分野の講義などを題材として4スキルの強化を図るとともに、クリティカルな視点から問題を分析し、論理的に自分の考えを表現する力を養います。		
授業計画	【前期】 第1回 授業概要、評価についての説明 第2回 Chapter 1: Personality and Learning 第3回 On the street interviews 第4回 Interview on stress and learning 第5回 Campus tour 第6回 Chapter 2: Learning and Memory 第7回 Conversation between friends 第8回 Interview on study skills 第9回 Presentation on learning styles 第10回 Chapter 3: Career Choices 第11回 Conversation between students studying 第12回 Interview on student jobs 第13回 Presentation on a career center 第14回 Oral Presentation - Group 第15回 Oral Presentation - Group	【後期】 第1回 Chapter 4: Marketing for the Ages 第2回 Conversation about a new job 第3回 Interview on market research 第4回 Class lecture on personal finance 第5回 Chapter 5: Connecting with Others 第6回 Conversation about how to meet people 第7回 Interview on friends 第8回 Presentation on campus club 第9回 Chapter 6: Sports and Life 第10回 On the street interviews 第11回 Interview on sports and mob behavior 第12回 Presentation on college sports 第13回 Oral Presentation - Individual 第14回 Oral Presentation - Individual 第15回 Oral Presentation - Individual	
進め方	テキストの各章で扱われているテーマを中心に、背景知識や語彙表現をリーディングや視聴覚教材を通して導入します。また、ペア・ワークやグループ・ディスカッションを通して、テーマに関する理解や考えを深めていきます。各学期の最後には、授業で扱ったテーマを更に発展させ、オーラル・プレゼンテーションに取り組みます。		
テキスト	Quest Intro Listening and Speaking Laurie Blass and Pamela Hartmann (McGraw Hill, 2007)	参考文献	授業時に紹介します
評価方法	リスニング・テスト:25% 語彙テスト:25% プレゼンテーション:20% 提出物:20% 出席:10%		

英語Ⅴ (Reading)		通年 2 単位	1・2・3年
食文化のルーツを探る		矢部 寿美子 (やべ すみこ)	
ねらい	この授業では、異文化を理解する上では欠かせない「食」に焦点を当て、世界の食文化の違い・類似性・特性を探る。その背景にある民族の歴史や風土、宗教なども考え、食のタブーや決まりごとの「なぜ」にまで踏み込む。「英語を学ぶ」ことに留まらず、「英語で」情報を得、理解を深め、自己発信できる基礎力を確立することを目的とする。		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction, print 1 : Counting Calories 第2回 print 3 : As American as Apple Pie 第3回 print 4 : Use as Directed - cooking process 第4回 print 5 : Following the Recipe 第5回 print 6 : Supplemental Health 第6回 print 7 : Time for Tea 第7回 テスト 第8回 print 8 : Fresh from the Garden 第9回 print 9 : Trick or Treat 第10回 Text Unit 1 : Jewish dietary laws - why so strict? 第11回 Unit 2 : Muslims dietary laws - no eating pork 第12回 Unit 3 : Christianity diet 第13回 Unit 4 : The Buddhism diet 第14回 映画・復習 第15回 テスト	【後期】 第1回 Unit 5 : America, once the leading whaling nation 第2回 Unit 9 : Cultures that eat dog meat 第3回 Unit 10 : The tastiest part of a sheep 第4回 Unit 11 : Tartar steak, raw meat 第5回 Unit 13 : Raw egg - Japanese 第6回 Unit 14 : Shabu-shabu and fondue 第7回 テスト 第8回 Unit 16 : Sukiyaki / gyunabe 第9回 Unit 17 : Beer in German 第10回 Unit 18 : Wine in France 第11回 Unit 19 : Chocolate and cacao 第12回 print 10 : Valentine gift 第13回 Unit 20 : Pumpkin and Kabocha 第14回 映画 第15回 テスト	
進め方	毎回一つのテーマを扱う。リーディングとその解説が中心となるが、毎回の授業で映像を使用し、学生が各自、コンピュータで関連情報を英語で調べたり、課題に取り組む時間を設ける。毎回授業の始めに単語クイズをする。		
テキスト	大橋久利, Blake Baxter. <i>The East and the west in Dietary Culture</i> 食文化で知る東洋、西洋。Seibido. 2005. 1,800円 (税別)	参考文献	Sunaga, et. al. <i>Food for thought</i> . 南雲堂. 1785円 (税込)
評価方法	単語クイズ:30% テスト:70%		

英語VI (Writing)	通年 2 単位	1・2・3年
Communicative Writing	吉田 裕子・リナ (よしだ ひろこ りな)	
<p>【ねらい】 この授業は英語で自己表現をして、それを効果的に書き表す力を養う事を目標とします。 This course will focus on the development of practical writing skills. Students will be encouraged to use their writing as a way of communicating their ideas about a variety of topics. The two main goals of this course are 1) to promote fluency in writing, and 2) to provide language models that will be directly relevant to students' real needs. Please note that this class will be conducted in English.</p> <p>【授業計画】</p> <p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 1回 Class orientation 第 2回 Introduction to writing email messages 第 3回 Email writing 第 4回 Email writing 第 5回 Email writing 第 6回 Email writing 第 7回 Email writing 第 8回 Email writing 第 9回 Introduction to paragraph writing 第10回 Paragraph writing 第11回 Paragraph writing 第12回 Paragraph writing 第13回 Paragraph writing 第14回 Paragraph writing 第15回 Review & feedback session <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> 第 1回 Review session: Paragraph writing 第 2回 3-paragraph composition 第 3回 3-paragraph composition 第 4回 3-paragraph composition 第 5回 3-paragraph composition 第 6回 Introduction to essay writing 第 7回 Essay writing 第 8回 Essay writing 第 9回 Essay writing 第10回 Essay writing 第11回 5-paragraph essay writing 第12回 5-paragraph essay writing 第13回 5-paragraph essay writing 第14回 5-paragraph essay writing 第15回 Review & feedback session <p>【進め方】 この授業は英語で行われます。In the spring semester, we will be writing various email messages (formal & informal) in a variety of context. Then we will go on to the basics of paragraph writing. In the autumn semester, we will continue on writing paragraphs on different topics, and move on to basic essay writing. This schedule may change depending on student needs.</p> <p>【テキスト】 Information will be given in class.</p> <p>【参考文献】 Information will be given in class.</p> <p>【評価方法】 Assignments 70% Attendance 20% Effort & Attitude 10%</p>		

英語Ⅶ(Listening)		通年 2 単位	1・2・3年
ニュースと映画のリスニング		黒岩 裕 (くろいわ ゆたか)	
ねらい	英語のニュースと映画を使ってリスニング能力を高めることが主なねらいです。同時に、ニュースや映画のスク립トで内容を確認しながら読解能力を養い、時事英語と日常生活に必要な語彙や表現も身につけます。		
授業計画	【前期】 第1回 リスニングの学習方法について1 第2回 CNN 1 第3回 CNN 2 第4回 映画1 第5回 CNN 3 第6回 CNN 4 第7回 映画2 第8回 CNN 5 第9回 CNN 6 第10回 映画3 第11回 CNN 7 第12回 CNN 8 第13回 映画4 第14回 CNN 9 第15回 前期試験	【後期】 第1回 リスニングの学習方法について2 第2回 第2回から第14回までは、前期と同じ。 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回 後期試験	
進め方	毎回、英語のニュースや映画を使って、穴埋めやその他の形式でのリスニング、スク립トの内容確認、語彙・表現・文法の解説、背景知識や関連知識の説明などを行います。既習事項の確認のため、適宜小テストも行います。		
テキスト	English for the Global Age with CNN (朝日出版)	参考文献	適宜紹介します。
評価方法	出席:10% 小テスト:10% 前期試験:40% 後期試験:40%		

英語Ⅷ (Oral Communication)		通年 2 単位	1・2・3年
Developing oral communication skills through presentations in English		プラット (PLATT, I. R.)	
ねらい	The aims of the course are: a) to develop students' self-confidence and English fluency in talking to people, b) to be able to organize ideas and language in order to communicate, c) to tailor public speaking to audience, topic and purpose via basic presentation skills.		
授業計画	【前期】 第1回 Introduction, Speaking to people: What do we know? 第2回 Different messages: Physical 1 第3回 Different messages: Physical 2 第4回 Different messages: Physical 3 第5回 Different messages: Performances 第6回 Different messages: Visual 1 第7回 Different messages: Visual 2 第8回 Different messages: Visual 3 第9回 Different messages: Performances 第10回 Different messages: Story 1 第11回 Different messages: Story 2 第12回 Different messages: Story 3 第13回 Different messages: Performances 第14回 Performances 第15回 Performances	【後期】 第1回 Informative speech: Topic 1 第2回 Informative speech: Topic 1 第3回 Informative speech: Topic 1 第4回 Informative speech: Topic 2 第5回 Informative speech: Topic 2 第6回 Informative speech: Topic 2 第7回 Comparative speech: Topic 1 第8回 Comparative speech: Topic 1 第9回 Comparative speech: Topic 1 第10回 Comparative speech: Topic 2 第11回 Comparative speech: Topic 2 第12回 Comparative speech: Topic 2 第13回 Final Performances 第14回 Final Performances 第15回 Final Performances	
進め方	Techniques of talking to people in a more-than-conversational way will be examined and practised in class. Students will develop individual presentations as homework, present in class, receive feedback from classmates, and develop active listening/critical analysis skills.		
テキスト	David Harrington and Charles LeBeau. "Speaking of Speech" (New Edition, 2009) (DVD included). Macmillan Language House ISBN978-4-7773-6271-4.	参考文献	
評価方法	Class participation:30% Outside class class:30% Class performances:40%		

英語Ⅹ (English for TOEIC)		通年 2 単位	1・2・3年
基本的文法の復習を中心としたTOEIC対策演習		江連 和章 (えづれ かずあき)	
ねらい	Listening、語彙、Readingを含めて、TOEICテスト全般の対策演習授業ですが、特に、基本的文法の復習に焦点を当てます。TOEICに限らず、総合的英語能力の基盤を修得することを目的とします。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 授業の進め方、テキスト等の紹介 第2回 Ch.1 (1) At an Airport --- 基本文型 第3回 Ch.1 (2) At an Airport --- 基本文型 第4回 Ch.2 (1) At a Hotel --- 修飾 第5回 Ch.2 (2) At a Hotel --- 修飾 第6回 Ch.3 On the Street --- 文と文の接続 第7回 Ch.4 At a Restaurant --- 知覚動詞と使役動詞 第8回 Ch.5 Shopping --- 助動詞 第9回 Ch.6 At a Bank --- 助動詞と「助動詞+完了形」 第10回 Ch.7 (1) Taking a Trip --- 時制 第11回 Ch.7 (2) Taking a Trip --- 時制 第12回 Ch.8 Seeing the Doctor --- 完了形 第13回 Ch.9 Renting an Apartment --- 前置詞 第14回 前期のまとめ 第15回 定期試験	<p>【後期】</p> 第1回 Ch.10 Sports --- 不定詞 第2回 Ch.11 Job Hunting --- 仮定法 第3回 Ch.12 Talking on the Phone --- 仮定法 第4回 Ch.13 Appointments --- 受動態 第5回 Ch.14 (1) Giving a Presentation --- 動名詞と分詞構文 第6回 Ch.14 (2) Giving a Presentation --- 動名詞と分詞構文 第7回 Ch.15 (1) Negotiating --- 関係代名詞 第8回 Ch.15 (2) Negotiating --- 関係代名詞 第9回 Ch.16 Meetings --- 関係副詞 第10回 Ch.17 Business Performance --- 比較 第11回 Ch.18 Dealing with Complaints --- 名詞と冠詞 第12回 Ch.19 Market Trends --- 注意すべき名詞と数量形容詞 第13回 Ch.20 Parties --- 強調構文と倒置 第14回 後期のまとめ、全体のまとめ 第15回 定期試験	
進め方	講義と演習が中心となります。テキスト以外にも補足問題や補足資料を使用します。受講生の積極的な授業参加を期待します。		
テキスト	1. 『Kick Off for the TOEIC Test』 松岡昇著、金星堂 2. 補足問題と文法解説資料 (授業時に配布)	参考文献	授業中に紹介します。
評価方法	出席:25% 授業への参加度:15% 定期試験:60%		

フランス語 (初級)		通年 2 単位	1年
最初歩のコミュニケーション能力を目指して		加藤 行男 (かとう ゆきお)	
ねらい	フランス語の基本的な仕組みを習得し、日常生活において最低限必要と思われることを各自が発信できるようになる事を目指す。そのために、(1) フランス語がきちんと発音できるようになること、(2) 日常使うさまざまな表現を覚え、言えるようになること、(3) 辞書を使えば平易なフランス語文が訳読できるようになること、を具体的な目標とする。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 フランス語とはどのような言葉か 第2回 0課: アルファベと綴り字記号 第3回 0課: フランス語の発音の仕組みと簡単な挨拶 第4回 1課: 名詞の性と数、定冠詞 第5回 1課: 本文と練習問題 第6回 2課: 疑問文、否定文 第7回 2課: 本文と練習問題 第8回 3課: 不定冠詞、縮約1、形容詞の変化と位置 第9回 3課: 本文と練習問題 第10回 4課: 所有形容詞、提示表現、定冠詞の用法 第11回 4課: 本文と練習問題 第12回 5課: 部分冠詞、否定の表現、主語on 第13回 5課: 本文と練習問題 第14回 前期末試験にむけてのまとめと質疑応答 第15回 試験	<p>【後期】</p> 第1回 前期末試験の返却と解説 第2回 6課: 否定のde、否定疑問文、形容詞の性・数一致 第3回 6課: 本文と練習問題 第4回 7課: 指示形容詞、直接目的の代名詞、縮約2、近接過去 第5回 7課: 本文と練習問題 第6回 8課: 命令形、代名詞enとy、近接未来 第7回 8課: 本文と練習問題 第8回 これまでの学習から: 自己紹介 第9回 これまでの学習から: 親族を表す言葉、朝食のメニュー 第10回 9課: 単純未来、間接目的の代名詞 第11回 9課: 本文と練習問題 第12回 10課: 代名動詞、疑問形容詞、非人称構文 第13回 10課: 本文と練習問題 第14回 後期末試験にむけてのまとめと質疑応答 第15回 試験	
進め方	初めて学習するフランス語であるから、フランス語の仕組み=文法についての説明を少しずつしていく。目標 (1) のために、毎回CDを聞き、テキストの音読練習をする。(2) のためには小テスト形式により基本表現と動詞の活用を覚えてもらう。(3) のためには、毎回必ず辞書を持参してもらい、できるだけ多くの機会に辞書を引いてもらう。		
テキスト	中村敦子著『友だちとフランス語を』 (白水社)	参考文献	辞書は初回の授業時に指示する。(紙の辞書が望ましい)
評価方法	前後期定期試験:70% 小テスト:30%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語入門一言葉と生活		杉山 友一（すぎやま ゆういち）	
ねらい	まったく初めてフランス語を学習する人を対象とします。フランス人の日常生活を描いたテキストを通して、聞く力、読む力、自分で文を作る力の基礎を養うことを目指します。なるべく、フランス語検定の11月の試験で5級または4級を取得してほしいと思っています。また、他のフランス語の授業も合わせてとると、より効果的だと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 辞書の紹介、フランス語の文字と発音、挨拶する 第2回 自己紹介一名前、国籍、職業（文法と発音） 第3回 名前、国籍、職業を言う（続、問題）、年齢と家族 第4回 年齢と家族（続） 第5回 好きなものを言う 第6回 好きなものを言う（続）、持ち物を言う 第7回 持ち物を言う（続） 第8回 友達について話す 第9回 友達について話す（続）、尋ねる 第10回 尋ねる（続） 第11回 近い未来、近い過去のことを話す 第12回 近い未来、近い過去のことを話す（続）、時間と天候 第13回 時間と天候の表現、試験範囲などの説明 第14回 時間と天候を表現する（続）、試験前の準備 第15回 試験	【後期】 第1回 前期試験の返却と解説 第2回 数量を表す 第3回 数量を表す（続）、紹介する 第4回 紹介する（続） 第5回 一日を語る 第6回 一日を語る（続）、頼む、命令する 第7回 頼む、命令する（続） 第8回 未来のことを語る 第9回 未来のことを語る（続）、過去のことを語るI 第10回 過去のことを語るI（続） 第11回 過去のことを語るII 第12回 過去のことを語るII（続）、人や物について語る 第13回 人や物について語る（続）、試験業になどの説明 第14回 比較する、試験前の準備 第15回 試験	
進め方	前期は自分で発音することを重視します。間違っても良いから自分で声を出しましょう。ネイティブスピードで読む練習を最初から行います。後期は作文の比重を増やします。必ず予習をすること。フランスやヨーロッパの文化に興味を持ってもらうため、ビデオを見る時間を可能な範囲で用意しますが、普段から各自で絵画展などに行くようにしてくだ		
テキスト	藤田裕二・藤田知子著『新・東京一パリ、初飛行』 駿河台出版社	参考文献	仏和辞典は必ず用意すること。参考書は必須ではありませんが、用意するほうが好ましいでしょう。いずれも最初の授業で紹介します。
評価方法	試験:50% 出席:40% 小テスト:10%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語の基礎を学ぶ		檜垣 嗣子（ひがき つぎこ）	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語の音、綴り、文章構造に慣れ、基礎的な理解力をつける。 ・簡単な文章を作れるようにする。 		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス / フランス語の発音とつづり字 第2回 第1課「それは何ですか？」 第3回 第2課「ボールの自転車です」 第4回 第3課「僕は学生です」 第5回 復習と補足 第6回 第4課「ボールは背が高い」 第7回 第5課「私は18歳です」 第8回 第6課「フランス語を話せますか？」 第9回 復習と補足 第10回 第7課「この雑誌はいくらですか？」 第11回 第8課「私のフィアンセです」 第12回 第9課「おいくつですか？」 第13回 復習と補足 第14回 前期のまとめ 第15回 試験	【後期】 第1回 前期の復習 第2回 第10課「あなたはついてきますね！」 第3回 第11課「良いバカンスを過ごしましたか？」 第4回 第12課「ショッピングに行ったのよ」 第5回 復習と補足 第6回 第13課「愛してるよ」 第7回 第14課「誰があなたにそれを言ったのですか？」 第8回 第15課「私はニコラ・ガルニエといいます」 第9回 復習と補足 第10回 第16課「今日はいい天気です」 第11回 第17課「当時私は10歳だった」 第12回 第18課「君の好きな女優は誰？」 第13回 復習と補足 第14回 後期のまとめ 第15回 試験	
進め方	発音練習やフランス語での受け答え、質問など、授業中は積極的に声を出して参加してもらう。新しい言葉を学ぶには、習ったことをその都度確実に身につけていく必要があるため、復習を欠かさないこと。前回の内容について小テストをおこない、宿題の提出を求める。		
テキスト	佐藤久美子・佐藤領時著『アベセデ フランセ』 （白水社）	参考文献	授業時に紹介。 仏和辞典の購入については初回にアドバイスする。
評価方法	小テストと提出物:40% 試験:60%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語の初歩を学ぶ		二川 佳巳（ふたがわ よしみ）	
ねらい	発音の練習から始めて、フランス語の文法の規則や日常表現などを学び、直説法現在形のやさしいフランス語の文が理解できるようにする。また、言葉の背景にあるフランスの文化についても理解を深めたい。必要に応じて英語と比較しながら授業を進めるので、客観的に英語を見つめ直し理解を深める機会としたい。		
授業計画	【前期】 第1回 インTRODクシヨン 第2回 発音と綴り字 第3回 挨拶する 1 第4回 主語人称代名詞、動詞etre 第5回 名前、国籍、身分 第6回 持ち物を尋ねる、不定冠詞 第7回 名詞・形容詞の性と数、動詞avoir 第8回 趣味を尋ねる、定冠詞 第9回 第1群規則動詞、否定文 第10回 on を使った表現、指示形容詞 第11回 強勢形人称代名詞、動詞faire/descendre 1 第12回 挨拶する 2 第13回 動詞aller/venir、前置詞+定冠詞の縮約 第14回 疑問文、命令形 第15回 前期試験	【後期】 第1回 年齢・名前を尋ねる 第2回 疑問形容詞、所有形容詞、数詞 第3回 飲み物を頼む、部分冠詞 第4回 第2群規則動詞、動詞vouloir 第5回 時刻の表現、非人称構文 第6回 動詞pouvoir、直接目的語の人称代名詞 第7回 人を紹介する、デザートを頼む、動詞prendre 第8回 間接目的語の人称代名詞、代名動詞 第9回 人称代名詞のまとめ 第10回 カフェで注文する、曜日 第11回 近接未来、近接過去、中性代名詞en 第12回 C' est+形容詞の表現、序数詞 第13回 比較級、最上級 第14回 まとめと復習 第15回 後期試験	
進め方	教科書の文法事項の説明とそれに関する練習問題、簡単な訳読が中心となる。必要に応じて動詞の活用のチェックをし、プリントで練習問題を補なう。ゆっくり進むので、疑問点があれば積極的に質問してもらいたい。		
テキスト	小笠原洋子『ピエールとユゴー』（白水社）	参考文献	初回の授業で指示する。
評価方法	定期試験（前・後期）：60% 出席：20% 平常点：20%		

フランス語（初級）		通年 2 単位	1年
フランス語による意思疎通		横田 里子（よこた さとこ）	
ねらい	初級文法を習得し、日常よく使われる単語・言い回しを出来るだけ多く覚える。その際、「読む」、「書く」、「話す」、「聞く」という四つの言語能力をバランスよく養い、総合的に言葉を捉える訓練をする。また、発音練習を通して、フランス語の音のしくみを身につける。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス / フランス語の発音とつづり字 第2回 第1課 「それは何ですか？」 第3回 第2課 「ボールの自転車です」 第4回 第3課 「僕は学生です」 第5回 第4課 「ボールは背が高い」 第6回 第5課 「私は18歳です」 第7回 第6課 「フランス語を話せますか？」 第8回 復習と補足 第9回 第7課 「この雑誌はいくらですか？」 第10回 第8課 「私のフィアンセです」 第11回 第9課 「おいくつですか？」 第12回 第10課 「あなたはついていますね！」 第13回 復習と補足 第14回 前期のまとめ 第15回 試験	【後期】 第1回 前期の復習 / 第11課「良いバカンスを過ごしましたか？」 第2回 第11課 「良いバカンスを過ごしましたか？」 第3回 第12課 「ショッピングに行ったのよ」 第4回 復習と補足 第5回 第13課 「愛してるよ」 第6回 第14課 「誰があなたにそれを行ったのですか？」 第7回 第15課 「私はニコラ・ガルニエといっています」 第8回 第16課 「今日はいいい天気です」 第9回 第17課 「当時私は10歳だった」 第10回 第18課 「君の好きな女優は誰？」 第11回 復習と補足 第12回 第19課 「いつ二十歳になるの？」 第13回 第20課 「知らなかった」 第14回 後期のまとめ 第15回 試験	
進め方	新しい文法事項の説明をした後、例文の解釈と発音練習にうつる。まとめとして、練習問題をする。		
テキスト	佐藤久美子・佐藤領時著「アベセデフランセ」白水社	参考文献	授業中に適宜指導する。
評価方法	定期試験：60% 授業への参加度：30% 出席：10%		

ドイツ語（初級）		通年 2 単位	1年
ドイツ語入門		大谷 美奈（おおたに みな）	
ねらい	ドイツ人留学生と日本人女子学生を主人公にした身近な場面での会話中心に進行するテキストを使って、ドイツ語の日常的な表現や基本的な文法の初歩を習得することをめざします。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス・アルファベット 第2回 発音 第3回 「挨拶」 第4回 動詞 第5回 語順 第6回 「飲食」 第7回 名詞 第8回 冠詞 第9回 「紹介」 第10回 前置詞 第11回 代名詞 第12回 不規則変化動詞 第13回 「散策」 第14回 冠詞類 第15回 試験	【後期】 第1回 不規則変化動詞 第2回 命令文 第3回 「旅行」 第4回 話法の助動詞 第5回 形容詞 第6回 複数形 第7回 数詞 第8回 「旅行の思い出」 第9回 過去形・現在完了形 第10回 手紙・メール 第11回 「買い物」 第12回 「招待」 第13回 日付・時刻 第14回 「出発」 第15回 試験	
進め方	テキストに沿って進め、各場面に出てきた表現を参考に、自分のことをドイツ語で表現する練習をします。文法項目は説明、確認しますが、別冊として詳しい『文法ノート』が付いています。聞き取り練習もする予定です。テキストにCDが付いているので、予習、復習に活用してください。		
テキスト	『はじめようドイツ語』 Elisabeth Schmidt・須澤通・浜泰子（郁文堂）	参考文献	辞書について最初の時間に紹介します。必ず毎時間教室に持参して下さい。
評価方法	試験:40% 平常点:30% 課題提出状況:30%		

スペイン語（初級）		通年 2 単位	1年
スペイン語で話してみよう！		フローレス（FLORES, H. A.）	
ねらい	基本的な会話表現を目指す。スペイン語の発音は日本人にとって比較的親しみやすい。基本的な文法を学習し、リスニング・反復練習によってスペイン語の発音に慣れ、スペイン語によるコミュニケーションがはかれることを可能にしたい。		
授業計画	【前期】 第1回 スペイン語のアルファベット及び基本的な発音（1） 第2回 発音・アクセントの位置、名詞、冠詞、形容詞（1-2） 第3回 Hay+名詞、人称代名詞、規則動詞～ar（2-3） 第4回 数字、規則動詞～er ～ir、所有形容詞（3-4） 第5回 規則動詞・所有形容詞・国名とその形容詞（4） 第6回 不規則動詞Ser、指示形容詞/指示代名詞、数字（5） 第7回 不規則動詞Estar、所有形容詞の完全形、曜日（6） 第8回 語根母音変化動詞、不定詞による表現、時刻の表現（7） 第9回 時刻、不規則な動詞（一人称単数）、序数（7-8） 第10回 目的格人称代名詞 対格（～を）与格（～に）（8） 第11回 目的格代名詞（人・物事）の様々な用法（9） 第12回 その他の不規則動詞の活用（9） 第13回 Gustar動詞、疑問詞、接続詞（9） 第14回 全体的な復習 第15回 試験	【後期】 第1回 再帰動詞、再帰代名詞（10） 第2回 3人称複数形・単数形の動詞、月・季節（10） 第3回 比較、最上級、不規則な比較（11） 第4回 形容詞の絶対最上級、現在分詞、現在進行形（11） 第5回 過去分詞、不規則な過去分詞、現在完了（12） 第6回 現在完了、「～したばかり」、不定語と否定語（12） 第7回 点過去（規則動詞）、関係詞、感嘆文（13） 第8回 点過去（不規則動詞）、時の経過表現Hacer（13） 第9回 線過去（規則・不規則動詞）、過去完了（14） 第10回 点過去、線過去、縮小辞、不定詞の用法（14） 第11回 未来（規則・不規則動詞）（15） 第12回 未来完了、中正のlo、関係詞（15） 第13回 過去未来、受動態、関係詞、数字（16） 第14回 全体的な復習 第15回 試験	
進め方	授業計画に沿って授業を進めるが、時間やその他の条件によって、臨機応変に対応し学生と教師との対話をはかりつつ、授業を進める。		
テキスト	「ようこそスペイン語の世界へ 一ミニ会話と初級文法一」宮本博司著（大学書林）。	参考文献	まずは「西和辞典」（研究社、小学館、白水社、等）を用意して下さい。
評価方法	授業への積極的参加:20% 宿題:20% 定期試験:60%		

スペイン語（初級）		通年 2 単位	1年
スペイン語の基礎を習得して、表現しよう！		廣田 拓（ひろた たく）	
ねらい	①スペイン語の初級文法及び簡単な会話表現を習得する。 ②スペイン語圏の文化・日常生活を理解する。 ③スペイン語で自己表現する。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス、アルファベット、発音 第2回 文字、発音・アクセントの規則 第3回 簡単な挨拶の表現、名詞・形容詞 第4回 冠詞、主語人称代名詞、文の作り方 第5回 動詞serの用法 第6回 動詞estarの用法 第7回 所有形容詞、動詞serとestarの比較 第8回 基数、指示代名詞、指示形容詞 第9回 動詞hay, tener, irの用法 第10回 規則動詞～arの用法 第11回 規則動詞～erの用法 第12回 規則動詞～irの用法 第13回 規則動詞を使った表現 第14回 まとめと復習 第15回 期末試験	【後期】 第1回 復習：動詞ser, estar, hayの用法 第2回 復習：動詞tener, irの用法と規則動詞の表現 第3回 不規則動詞の用法（1） 第4回 不規則動詞の用法（2）：動詞poder, quererの用法 第5回 不規則動詞を使った表現 第6回 疑問詞の用法と表現、前置詞の用法 第7回 曜日と日付の表現、前置詞格人称代名詞 第8回 間接目的語になる人称代名詞の用法 第9回 直接目的語になる人称代名詞の用法 第10回 動詞gustarの用法と表現、gustar型の動詞の用法 第11回 時間の表現 第12回 比較表現 第13回 再帰動詞の用法 第14回 まとめと復習 第15回 期末試験	
進め方	基本的にはテキストとプリントを活用して、授業計画に沿って授業を進める。毎回、重要な文法事項を説明し、その後、例文や会話表現を音読し、反復練習を行う。リスニングは、CDやDVD教材を用いる。小テストや宿題で文章を作る練習をする。		
テキスト	「Accion（アクション!）」四宮瑞枝・落合佐枝 他、白水社	参考文献	辞書及び参考文献については、ガイダンスの際に説明します。授業では西和辞典を用意してもらいます。
評価方法	期末試験:50% 小テスト・宿題:30% 出席状況:20%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年
はじめの中国語		孔 令敬（こう れいけい）	
ねらい	中国語を初めて学習する履習生のための入門講座である。中国語の確固とした土台を築き、実用的な中国語の習得への更なる向上を旨と第一歩を踏み出す。		
授業計画	【前期】 第1回 中国語とはなにか 中国語のアルファベット 第2回 発音 声調 第3回 発音 母音 その1 第4回 発音 母音 その2 第5回 発音 子音 中国語ローマ字の綴り方の規則 第6回 発音の総合練習 第7回 第一課 第8回 第二課 第9回 第三課 第10回 総合練習 第11回 第五課 第12回 第六課 第13回 第七課 第14回 総合練習 第15回 第八課	【後期】 第1回 第九課 第2回 第十課 第3回 総合練習 第4回 第十一課 第5回 第十二課 第6回 第十三課 第7回 総合練習 第8回 第十四課 第9回 第十五課 第10回 第十六課 第11回 総合練習 第12回 第十七課 第13回 第十八課 第14回 第十九課 第15回 総合練習	
進め方	解釈と練習を平行して進める。発音の要領や基本文型についての説明を行った上で、作文や発音・置き換えなどの練習を行う。毎回自習用のプリントを配布して学習の効果を高める。		
テキスト	白帝社・『中国語初級表現一文型・文法を基礎に一』を使う。	参考文献	『中日・日中学習辞典』・中国文化出版センター。また『中日辞典』・講談社。
評価方法	平常点、出席点を含む:50% 前後二期の試験成績:50%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年
中国語で簡単な会話をする		本間 由香利（ほんま ゆかり）	
ねらい	前期は発音練習を重視し、単語単位ではなく文章を「中国語らしく」読めるよう訓練します。次に、必要最小限の文法を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようになることを目指します。後期は、前期に学んだ文法事項の理解と反復練習を通じて、自分のこと、身の回りの事柄について、簡単な中国語で会話ができるようになることを目標とします		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 私達が学ぶ「中国語」とは 第1課中国語の発音記号 第2回 第2課中国語の発音・復習 第3回 第3課中国語の発音・復習 第4回 第4課中国語の発音・復習 第5回 第5課 第6回 前回の復習と練習問題 第7回 第6課 第8回 前回の復習と練習問題 第9回 第7課 第10回 前回の復習と練習問題 第11回 第8課 第12回 前回の復習と練習問題 第13回 第9課 第14回 前回の復習と練習問題第6課 第15回 期末テスト	<p>【後期】</p> 第1回 第10課 第2回 前回の復習と練習問題 第3回 第11課 第4回 前回の復習と練習問題 第5回 第12課 第6回 前回の復習と練習問題 第7回 第13課 第8回 前回の復習と練習問題 第9回 第14課 第10回 前回の復習と練習問題 第11回 第15課 第12回 前回の復習と練習問題 第13回 第16課 第14回 前回の復習と練習問題 第15回 期末テスト	
進め方	比較的簡単なテキストを用いてゆっくりと授業を進めます。次々に新しい事を学ぶのではなく、十分に理解した上で反復訓練を行なうことを中心にします。学生諸君には大きな声で発音すること等、積極的に授業に参加して頂くことを期待します。また第三の言語を学び、日本語・英語を見る別の視線を身につける事にも配慮します		
テキスト	『しゃべっていいとも中国語』陳淑梅・劉光赤（朝日出版社）	参考文献	授業内で指示します
評価方法	出席:30% 平常点（授業態度）:30% 試験:40%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年 国文・家政・芸術
中国語を学ぶステップ・ワン		劉 書明（りゅう しょめい）	
ねらい	本講座は、初めて中国語と接する初心者を対象とする通年科目である。中国語の基本知識を教える同時、今後、中国人と交流出来る実用目的を前提に、中国語と親しんでもらう。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 発音1 第2回 発音2 第3回 発音3 第4回 発音4 第5回 発音の自己チェック・復習1 第6回 小テスト1 第7回 空港① 第8回 空港②、隣に① 第9回 隣に②、チェックイン① 第10回 チェックイン②、はい、チーズ!① 第11回 はい、チーズ!②、何年生まれ?① 第12回 何年生まれ?②、故宮① 第13回 故宮②、復習2 第14回 小テスト2 第15回 中間テスト	<p>【後期】</p> 第1回 遊園地① 第2回 遊園地②、北京の朝① 第3回 北京の朝②、プレゼント① 第4回 プレゼント②、北京動物園① 第5回 北京動物園②、北京ダック① 第6回 北京ダック②、サッカー観戦① 第7回 サッカー観戦②、復習3 第8回 小テスト3 第9回 プールサイド① 第10回 プールサイド②、お医者さん① 第11回 お医者さん②、月の夜① 第12回 月の夜②、上海へ① 第13回 上海へ②、複数4 第14回 小テスト4 第15回 期末テスト	
進め方	前期は基礎、後期は応用を中心とする授業展開になる。前期は発音、文法、句型、文字（略字）を始め、基本会話を学習する。後期は、前期の内容を消化しつつ、応用会話、センテンス、構文、作文を中心に学ぶ。授業は宿題と小テストを併用する。しっかり読む、聞く、話す、書く等の基本知識を身に付け、今後のスキルアップに備える。		
テキスト	主に『恋をする莎莎』（朝日出版社）を使用し、補助教材として随時にコピーを配布する。	参考文献	『中日辞典』（講談社）、『中日辞典』『日中辞典』（小学館）等。
評価方法	出席:30% 練習:30% テスト:40%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年 英文
中国語を学ぶステップワン		劉 書明（りゅう しよめい）	
ねらい	本講座は、初めて中国語と接する初心者を対象とする通年科目である。中国語の基本知識を教える同時、今後、中国人と交流できる実用目的を前提に、中国語と親しんでもらう。		
授業計画	【前期】 第1回 発音1 第2回 発音2 第3回 発音3 第4回 発音4 第5回 発音5 第6回 復習1、小テスト1 第7回 これはあなたの本ですか 第8回 日本語は難しいですか 第9回 お昼一緒に食べましょう 第10回 家族は何人ですか 第11回 復習2、小テスト2 第12回 お家はどこですか 第13回 ユニット1まとめ・総合練習 第14回 総合復習 第15回 中間テスト	【後期】 第1回 夏休みはどうするつもりですか 第2回 私は中村駅につきました 第3回 お誕生日、おめでとう 第4回 中国人の友達に手紙を書く 第5回 復習3、小テスト3 第6回 テニスを教えてくださいませんか 第7回 ユニット2まとめ・総合練習 第8回 テニスは上手ですか 第9回 明日、また雪ですか 第10回 復習4、小テスト4 第11回 元旦はどう過ごしますか 第12回 中国語の勉強はどうですか 第13回 高橋さんは王燕さんに手紙を書く 第14回 総合復習 第15回 期末テスト	
進め方	前期は、発音、文法、文型、文字（中国語略字）等の解釈を始め、基本会話を学習する。後期は、前期の内容を消化しつつ、応用会話、センテンス、構文、作文を中心に学ぶ。授業は、宿題と小テストを併用する。しっかり読む、聞く、話す、書く等の基本知識を身に付け、今後のスキルアップに備える。		
テキスト	主に『話したくなる中国語』（朝日出版）を使用し、補助教材としてコピーを配布する。	参考文献	『中日辞典』（講談社）、『中日辞典』、『日中辞典』（小学館）等。
評価方法	出席:30% 練習:30% テスト:40%		

中国語（初級）		通年 2 単位	1年 教養・子ども
中国語を学ぶステップワン		劉 書明（りゅう しよめい）	
ねらい	本講座は、初めて中国語と接する初心者を対象とする通年科目である。中国語の基本知識を教える同時、今後、中国人と交流できる実用目的を前提に、中国語と親しんでもらう。		
授業計画	【前期】 第1回 発音1 第2回 発音2 第3回 発音3 第4回 発音4 第5回 発音5 第6回 第一課 空港 第7回 第二課 となり 第8回 第三課 チェックイン 第9回 復習、小テスト 第10回 第四課 はい、チーズ 第11回 第五課 何年生まれ 第12回 第六課 故宮 第13回 復習、小テスト 第14回 総合復習 第15回 中間テスト	【後期】 第1回 第七課 遊園地 第2回 第八課 北京の朝 第3回 第九課 プレゼント 第4回 復習、小テスト 第5回 第十課 北京動物園 第6回 第十一課 北京ダック 第7回 第十二課 サッカー観戦 第8回 復習、小テスト 第9回 第十三課 プールサイド 第10回 第十四課 お医者さん 第11回 第十五課 月の夜 第12回 復習、小テスト 第13回 第十六課 上海へ 第14回 総合復習 第15回 期末テスト	
進め方	前期は、発音、文法、文型、文字（中国語略字）を始め、基本会話を学習する。後期は、前期の内容を消化しつつ、応用会話、センテンス、構文、作文を中心に学ぶ。授業は、宿題、小テストを併用する。しっかり聞く、話す、書く基本知識を身につけ、今後のスキルアップに備える。参考として、補助資料も配布する。		
テキスト	『恋する莎莎』（朝日出版社）を使用する。	参考文献	『中日辞典』（講談社）、『中日辞典』、『日中辞典』（小学館）等。
評価方法	出席:30% 練習:30% テスト:40%		

韓国語（初級）		通年 2 単位	1年
韓国語と韓国の文化、社会		川村 受映（かわむら じゅえい）	
ねらい	この講座では、韓国語の基礎をマスターすることを目的とする。韓国語の読み書きをはじめ、文章のつくり方など基本的な文法を指導するが、全体的に会話に重点を置く。なお、韓国関係のビデオや映画などを用いることで、韓国の現代社会や文化にもふれる。インターネットを活用して授業を進めると同時にコンピュータでハングルのやり取りができるようにする。		
授業計画	【前期】 第1回 授業オリエンテーション、第1課 第2回 第2課 第3回 第3課 第4回 第4課 第5回 第5課 第6回 第6課 第7回 第7課 第8回 第8課 第9回 第9課 第10回 第10課 第11回 第11課 第12回 第12課 第13回 第13課 第14回 第14課 第15回 第15課	【後期】 第1回 第16課 第2回 第16課 第3回 第17課 第4回 第17課 第5回 第18課 第6回 第18課 第7回 第19課 第8回 第19課 第9回 第20課 第10回 第20課 第11回 第21課 第12回 第21課 第13回 第22課 第14回 第22課 第15回 試験	
進め方	教科書に沿ってすすめる		
テキスト	『書いて覚える初級朝鮮語』白水社 高島 淑郎	参考文献	授業中紹介する。
評価方法	平常点:30% 中間発表:30% 期末テスト:40%		

韓国語（初級）		通年 2 単位	1年
韓国語の発音・日常生活と文化、書いて覚える韓国語		金 元恵（きむ うおんへ）	
ねらい	言葉はコミュニケーション及びその国の文化理解のために大切な手段です。いちばん近い外国である韓国の言葉を楽しみ音楽を聴くように聞き、歌うように話しながら身につけて新しい世界を発見することを目指す。		
授業計画	【前期】 第1回 ハングルの由来と文化 第2回 文字について、母音について、単語の発音と書く練習 第3回 文字について、子音について、単語の発音と書く練習 第4回 文字について、濃音について、単語の発音と書く練習 第5回 文字について、終声（パッチム）の練習 第6回 日常生活の基本的な単語の意味と発音練習（TESTのため） 第7回 自己紹介の文をつくる 発音の練習（発表のため） 第8回 基本的な文法を習得① 単文づくりを学ぶ 第9回 基本的な文法を習得② 単文づくりを学ぶ 第10回 単語TEST、自己紹介の練習 第11回 日韓合作ドラマ「friend」感想 第12回 " 第13回 ビデオに出て来る韓国の文化を学ぶ 第14回 自己紹介の発表TEST 第15回 自己紹介の発表と日・韓合作ドラマの感想文の提出	【後期】 第1回 発音の復習 第2回 基本的な文法を習得③ 単文づくりを学ぶ 第3回 基本的な文法を習得④ 単文づくりを学ぶ 第4回 テキストに従ってpointとなる日常生活を学ぶ① 第5回 " ② 第6回 " ③ 第7回 " ④ 第8回 日常生活の基本的な形容詞の意味と発音（TESTのため） 第9回 形容詞の発音と単文づくりを学ぶ 第10回 日韓合作ドラマ「ソナギ」感想 第11回 " ドラマに出る韓国文化を学ぶ 第12回 動詞の語幹にどんな語尾がつかがるか①（手紙を書くため） 第13回 " ②（ ") 第14回 形容詞のTEST 手紙の書き方 第15回 韓国のお正月の話、かえるの物語、お料理の紹介	
進め方	テキストが中心となります。毎回練習問題を宿題として出します。同時にテキスト以外の物も多く学びます。充分練習した自己紹介を発表することによって自信感を持たせます。「Friends」ビデオは感想文を書きます。（日本語で）最終的には多くの単語を使ってまた語尾の変化に従って自由テーマに手紙を書くことを目指します。		
テキスト	「韓国語の初歩」白水社 著者：厳基珠 金三順 金天鶴 甲鉉竣 吉川知丈	参考文献	特に定めず授業時に紹介する。
評価方法	発音と自己紹介の発表:25% 単語テストと手紙を書く:25% 宿題:25% 出席:25%		

フランス語 I (初級)		通年 2 単位	1・2・3年
日常のコミュニケーション能力を獲得するために		加藤 行男 (かとう ゆきお)	
ねらい	フランス語の基本的な仕組みを習得し、日常生活において最低限必要と思われることを各自が発信できるようになることを目指す。そのために、(1)フランス語がきちんと発音できるようになること、(2)日常使うさまざまな表現を覚え、言えるようになること、(3)辞書を使えば平易なフランス語文が訳読できるようになること、を具体的な目標とす		
授業計画	【前期】 第1回 フランス語はどのような言葉か 第2回 1課：アルファベ、綴り字と発音 第3回 1課：数字、フランスはどんな国 第4回 2課：名詞の性と数、不定冠詞、定冠詞 第5回 2課：練習問題と本文 第6回 3課：主語人称代名詞、不規則動詞être、アンシェスマン 第7回 3課：練習問題と本文 第8回 4課：部分冠詞、不規則動詞avoirと熟語表現、否定文 第9回 4課：練習問題と本文 第10回 5課：第一群規則動詞、疑問文、肯定と否定の応答 第11回 5課：練習問題と本文 第12回 6課：形容詞の位置と性・数、命令形 第13回 6課：練習問題と本文 第14回 前期末試験にむけてのまとめと質疑応答 第15回 試験	【後期】 第1回 前期末試験の返却と解説 第2回 7課：所有形容詞、形容詞の比較級 第3回 7課：練習問題と本文 第4回 8課：前置詞と定冠詞の縮約、疑問副詞 第5回 8課：練習問題と本文 第6回 9課：近い未来と近い過去、疑問代名詞 第7回 9課：練習問題と本文 第8回 10課：疑問形容詞、時刻や天候の表現 第9回 10課：練習問題と本文 第10回 11課：目的語代名詞、代名動詞 第11回 11課：練習問題と本文 第12回 12課：複合過去 第13回 12課：練習問題と本文 第14回 後期末試験にむけてのまとめと質疑応答 第15回 試験	
進め方	初めて学習するフランス語であるから、フランス語の仕組み＝文法についての説明を少しずつしていく。目標(1)のために、毎回CDを聞き、テキストの音読練習をする。(2)のためには、小テスト形式により基本表現と動詞の活用を覚えてもらう。(3)のためには、毎回必ず辞書を持参してもらい、できるだけ多くの機会に辞書を引いてもらう。		
テキスト	太原孝英、大場静枝、佐藤淳一、塚越敦子著『ケンとジュリー』(CD付)(駿河台出版社)	参考文献	辞書は初回の授業時に指示する。(紙の辞書が望ましい)
評価方法	前後期定期試験:70% 小テスト:30%		

フランス語 I (初級)		通年 2 単位	1・2・3年
声を出して学ぶフランス語		杉山 友一 (すぎやま ゆういち)	
ねらい	まったく初めてフランス語を学習する人を対象とします。フランス語の基礎知識を習得して、簡単な文を自分で作れるようになりましょう。特に11月のフランス語検定試験で5級若しくは4級の取得を目指す人には、是非受講していただきたいと思います。また、他のフランス語の授業も合わせてとると、より効果的だと思います。		
授業計画	【前期】 第1回 辞書の紹介、文字と発音、挨拶 第2回 もの(人)を紹介する 第3回 もの(人)を紹介する(続)、自己紹介 I 第4回 自己紹介 I (続)、II 第5回 何があるかを尋ねる 第6回 何があるかを尋ねる(続)、体調を説明する 第7回 体調を説明する(続) 第8回 物の様子を説明する 第9回 物の様子を説明する(続)、注文する 第10回 注文する(続) 第11回 場所を尋ねる 第12回 場所を尋ねる(続)、釣りに行く 第13回 釣りに行く(続)、試験範囲などの説明 第14回 復習と試験前の準備 第15回 試験	【後期】 第1回 試験の返却と解説 第2回 近い過去と近い未来 第3回 近い過去と近い未来(続)、買い物をする 第4回 買い物をする(続) 第5回 ホテルで部屋をとる 第6回 ホテルで部屋をとる(続)、未来の話をする 第7回 未来の話をする(続) 第8回 公園に行く 第9回 公園に行く(続)、美術館に行く 第10回 美術館に行く(続) 第11回 ピクニック 第12回 ピクニック(続)、列車に乗る 第13回 列車に乗る(続)、試験範囲などの説明 第14回 復習と試験前の準備 第15回 試験	
進め方	外国語を読めないまま学習し続けることほどつらいことはありません。この授業では教科書を見ないでネイティブの発音を聴いて、まねをして発音する、あるいはネイティブのスピードで読んでみるなど、読む努力を重視します。特に前期は自分で声を出すことを重視し、後期は作文に重点を置きます。必ず予習をしていただくことが授業の前提です。		
テキスト	森本英夫、小倉博史ほか著『エスポワール』 白水社	参考文献	辞書は必ず用意すること。参考書は、必須ではありませんがなるべく用意して欲しい。いずれも最初の授業で紹介いたします。
評価方法	試験:50% 出席:40% 小試験:10%		

フランス語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
フランス語Ⅰをふまえてレベルアップする。		鈴木 律子（すずき りつこ）	
ねらい	フランス語一一年次にひき続くフランス語運用能力の向上		
授業計画	【前期】 第1回 過去のことを語るⅠ 第2回 過去のことを語るⅠ（続） 第3回 過去のことを語るⅡ 第4回 過去のことを語るⅡ（続） 第5回 人や物について語る 第6回 人や物について語る（続） 第7回 比較する 第8回 比較する（続） 第9回 受け身の形を使う 第10回 受け身の形を使う（続） 第11回 仮定する 第12回 仮定する（続） 第13回 予備日 第14回 前期分の総合的復習 第15回 試験	【後期】 第1回 感情を表現する 第2回 感情を表現する（続） 第3回 学生と共にテキストを選び読み進む 第4回 学生と共にテキストを選び読み進む 第5回 学生と共にテキストを選び読み進む 第6回 学生と共にテキストを選び読み進む 第7回 学生と共にテキストを選び読み進む 第8回 学生と共にテキストを選び読み進む 第9回 学生と共にテキストを選び読み進む 第10回 学生と共にテキストを選び読み進む 第11回 学生と共にテキストを選び読み進む 第12回 学生と共にテキストを選び読み進む 第13回 学生と共にテキストを選び読み進む 第14回 後期分の総合的復習 第15回 試験	
進め方	一年次と同様、まずテキストを口頭反復練習し、次に文法事項を解説する。テキストの訳、練習問題は学生の参加による。		
テキスト	藤田裕二・藤田知子著『新・東京一パリ、初飛行』駿河台出版社	参考文献	教科書、仏和辞典、ノートは毎時間持参して欲しい。あとは必要に応じて授業中に指示する。
評価方法	定期試験の成績:80% 出席・授業中の発表:20%		

フランス語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
フランス語の基礎を完成させる		二川 佳巳（ふたがわ よしみ）	
ねらい	一年次にやり残した文法事項を終了させ、仏検や編入試験の仏語にも対応できるよう、フランス語の基礎をしっかりと完成させることを目標とする。また、言葉の背景にあるフランスの文化についても理解を深めたい。		
授業計画	【前期】 第1回 イントロダクション・綴り字の読み方の確認 第2回 昨年度の復習 第3回 頼む、命令する 第4回 命令法 第5回 未来のことを語る 第6回 直説法単純未来 第7回 過去のことを語る 第8回 直説法複合過去 第9回 過去のことを語るⅡ 第10回 直接法半過去・大過去 第11回 人や物について語る 第12回 関係代名詞 第13回 まとめと復習 第14回 同上 第15回 前期試験	【後期】 第1回 比較する 第2回 比較級・最上級 第3回 受け身の形を使う 第4回 受動態、現在分詞 第5回 仮定する 第6回 条件法現在・過去 第7回 感情を表現する 第8回 接続法現在・過去 第9回 直接話法と間接話法 第10回 補助プリント 第11回 同上 第12回 同上 第13回 同上 第14回 まとめと復習 第15回 後期試験	
進め方	文法事項の説明と練習問題、簡単な講読が中心となるが、必要に応じてプリントで練習問題を補う。辞書を使ってどんどん予習ができるはずなので、積極的に授業に参加してもらいたい。		
テキスト	昨年度多くのクラスで使用した『新・東京一パリ、初飛行』（白水社）。持っていない人はプリントで配布。	参考文献	初回の授業で指示する。
評価方法	出席:20% 小テストを含む平常点:20% 定期試験:60%		

フランス語Ⅲ（会話）		通年 2 単位	2・3年
フランス語会話入門		檜垣 嗣子（ひがき つぎこ）	
ねらい	初歩的なフランス語の会話能力を身につける。 「伝えたいことを伝えられる」を目標に、ミスを恐れず思い切って話してみよう。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 挨拶と自己紹介 1 第2回 自己紹介 2 第3回 数字の復習（値段をたずねる・日付の表現） 第4回 好き嫌いの表現 第5回 趣味 第6回 人を紹介する 1 第7回 人を紹介する 2 第8回 復習 第9回 持ち物・特徴を説明する 1 第10回 持ち物・特徴を説明する 2 第11回 年齢をたずねる 第12回 家族について説明する 第13回 人の状態・様子についての表現 第14回 復習 第15回 試験	<p>【後期】</p> 第1回 待ち合わせ 第2回 観光旅行をする 第3回 パリ観光 第4回 カフェとファストフード 第5回 レストランでの表現 第6回 復習 第7回 友達と出かける 第8回 したばかりのことを説明する 第9回 一日の過ごし方 第10回 これからの予定を説明する 第11回 人にすすめる・アドバイスする 第12回 感想を言う 1 第13回 感想を言う 2 第14回 復習 第15回 試験	
進め方	毎回いくつかの課題表現を提示し、身につけてもらう。また各自、課題表現に変化を加え、口頭で発表する。なお、上記の授業内容は履修人数等により変更の可能性がある。		
テキスト	使用しない。適宜プリントを配布。	参考文献	必要があれば授業中に提示する。
評価方法	平常点:50% 試験:50%		

ドイツ語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
ドイツ語の基礎を学ぼう		飯田 道子（いいだ みちこ）	
ねらい	ドイツ語の初級文法を学びます。日常会話を中心とした平易な文章を理解し、実際に使えるようにしていきます。また、映像資料を使ってドイツを身近に感じていけるようにします。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 導入 第2回 あいさつの表現 第3回 動詞の現在人称変化(1) 第4回 人を誘うときの表現、時刻の尋ね方 第5回 動詞の現在人称変化(2) 第6回 道の尋ね方、答え方 第7回 動詞haben 第8回 冠詞 第9回 買い物 第10回 名詞と冠詞の3格 第11回 週末の予定、天候の表現 第12回 分離動詞 第13回 非人称のes 第14回 話法の助動詞 第15回 期末試験	<p>【後期】</p> 第1回 復習 第2回 過去のできごと「夏休みは何をした？」 第3回 過去分詞、現在完了 第4回 過去基本形 第5回 修理・家事・料理に関する表現 第6回 受動文 第7回 再帰代名詞、比較 第8回 病気に関する表現 第9回 従属の接続詞 第10回 zu不定詞句 第11回 非現実の表現 第12回 接続法 第13回 クリスマスの習慣 第14回 予備日 第15回 期末試験	
進め方	ミュンヘンで暮らす日本人学生を主人公にしたテキストを使って、日常会話を中心とした表現を練習していきます。パートナー練習を多用して、学んだ文法事項を実践します。積極的な授業参加が求められます。		
テキスト	飯田道子・江口直光「アップファールト スキットで学ぶドイツ語」（三修社）	参考文献	年頭に辞書を紹介しますので、毎回持参してください。
評価方法	平常点:60% 筆記試験:40%		

ドイツ語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
ドイツ語の基礎を復習しながら、実践力をつけよう！		飯田 道子（いいた みちこ）	
ねらい	前期は一年次に学習した初級文法を復習しながら基礎固めをし、さらに中級レベルの表現をめざします。後期は文学作品や映像作品などを題材として、学んだ文法を実践的に使えるようにしていきます。		
授業計画	【前期】 第1回 自己紹介 第2回 自分のことを話す 第3回 過去の表現（1） 第4回 過去の表現（2） 第5回 過去の表現（3） 第6回 受動（1） 第7回 受動（2） 第8回 再帰動詞 第9回 不定句 第10回 副文（1） 第11回 副文（2） 第12回 関係代名詞（1） 第13回 関係代名詞（2） 第14回 夏休みの予定 第15回 予備日	【後期】 第1回 夏休みのことを話す 第2回 完了表現のおさらい 第3回 接続法 第4回 接続法 第5回 映像作品に見るドイツ（1） 第6回 映像作品に見るドイツ（2） 第7回 ドイツ旅行計画を作ろう 第8回 ドイツ旅行計画を作ろう 第9回 グリム童話を読む 第10回 グリム童話を読む 第11回 グリム童話を読む 第12回 クリスマスの習慣 第13回 日本におけるグリム受容 第14回 一年のまとめ 第15回 予備日	
進め方	前期は、文法の復習とさらなる学習にあてます。ミュンヘンで暮らす日本人学生を主人公にしたテキストを使って、日常の表現を練習していきます。パートナー練習を多用した授業ですので、積極的な参加が求められます。後期は、文学作品や映像作品に取り組んでいきます。		
テキスト	飯田道子・江口直光「アプファールト」（三修社）	参考文献	辞書を毎回持参してください。
評価方法	平常点:50% レポート:50%		

スペイン語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
スペイン語の基礎を習得して、表現しよう！		廣田 拓（ひろた たく）	
ねらい	①スペイン語の初級文法及び簡単な会話表現を習得する。 ②スペイン語圏の文化・日常生活を理解する。 ③スペイン語で自己表現をする。		
授業計画	【前期】 第1回 ガイダンス、アルファベット、発音 第2回 文字、発音・アクセントの規則 第3回 簡単な挨拶の表現、名詞・形容詞 第4回 冠詞、主語人称代名詞、文の作り方 第5回 動詞serの用法 第6回 動詞estarの用法 第7回 所有形容詞、動詞serとestarの比較 第8回 基数、指示代名詞、指示形容詞 第9回 動詞hay, tener, irの用法 第10回 直説法現在形の規則動詞：AR動詞の用法 第11回 直説法現在形の規則動詞：ER動詞の用法 第12回 直説法現在形の規則動詞：IR動詞の用法 第13回 規則動詞を使った表現 第14回 まとめと復習 第15回 期末試験	【後期】 第1回 復習：ser, estar, hayの用法 第2回 復習：動詞tener, irの用法、規則動詞の表現 第3回 不規則動詞の用法（1） 第4回 不規則動詞の用法（2）：動詞poder, quererの用法 第5回 不規則動詞を使った表現 第6回 疑問詞の用法と表現、前置詞の用法 第7回 曜日と日付の表現、前置詞格人称代名詞 第8回 間接目的語になる人称代名詞の用法 第9回 直接目的語になる人称代名詞の用法 第10回 動詞gustarの用法と表現、gustar型の動詞の用法 第11回 時間の表現 第12回 比較表現 第13回 再帰動詞の用法 第14回 まとめと復習 第15回 期末試験	
進め方	基本的にはテキストとプリントを活用して、授業計画に沿って授業を進める。毎回、重要な文法事項を説明し、その後、例文や会話表現を音読し、反復練習を行う。リスニングは、CDやDVD教材を用いる。小テストや宿題で文章を作る練習をする。		
テキスト	「Accion（アクション!）」四宮瑞枝・落合佐枝 他、白水社	参考文献	辞書及び参考文献については、ガイダンスの際に説明します。授業では辞書を用意してもらいます。
評価方法	期末試験:50% 小テスト・宿題:30% 出席状況:20%		

スペイン語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
スペイン語会話にチャレンジ！		フローレス（FLORES, H. A.）	
ねらい	幅広い会話表現を目指す。スペイン語Ⅰで学んだ基礎に基づき、それよりレベルの高い表現方法、コミュニケーションの方法を学習する。習った会話を自分で応用及び変化させながらより実用的な会話ができるように取り組んでいく。また、それまで習ったスペイン語を使って自由に、簡単なスピーチや作文を楽しむ。		
授業計画	【前期】 第1回 基本的な表現や一般的な動詞の用法を思い出す。 第2回 前置詞2②desde, hasta, para（日常会話16） 第3回 点過去、動詞の活用（17） 第4回 点過去、線過去、動詞の活用（17-18） 第5回 線過去、不規則動詞のser, ir, ver（18） 第6回 点過去と線過去、その関係、Speech（19） 第7回 点過去、線過去、現在完了、Speech（19-20） 第8回 現在進行形・現在分詞、Speech（21） 第9回 過去進行形・現在分詞、Speech（21） 第10回 未来形及びその代行表現、Speech（22） 第11回 未来形、再帰動詞、Speech（22-23） 第12回 再帰動詞、再帰人称代名詞、Speech（23） 第13回 再帰人称代名詞（応用）、Speech（23） 第14回 全体的な復習、Speech 第15回 試験	【後期】 第1回 再帰動詞、関係代名詞/副詞Speech（23-24） 第2回 命令形、Speech（25） 第3回 命令形の色々な使い方、Speech（25） 第4回 “se”の用法、Speech（高度な表現1） 第5回 受身の表現、Speech（2） 第6回 比較、Speech（3） 第7回 接続法①、接続法現在、Speech（4） 第8回 接続法現在の一般的な用法、Speech（4） 第9回 接続法②、接続法過去、Speech（5） 第10回 接続法過去の一般的な用法、Speech（5） 第11回 条件法、Speech（6） 第12回 接続法と条件法の関係、Speech（6） 第13回 手紙の書き方、Speech（手紙の書き方1） 第14回 全体的な復習、Speech。 第15回 試験	
進め方	スペイン語Ⅰの教科書を復習しながら授業計画に沿って授業を進めるが、時間やその他の条件によって、臨機応変に対応し学生と教師との対話をはかりつつ、授業を進める。		
テキスト	スペイン語Ⅰで使ったテキストを引き続き使用する。「CDレッスン 驚くほど身につくスペイン語」Luis Cebollada+山崎佳世【共著】（高橋書店）。	参考文献	西和辞典（研究社、小学館、白水社、等）を用意して下さい。その他必要に応じて、授業中に指示する。
評価方法	授業への積極的参加:20% 宿題:20% 定期試験:60%		

ロシア語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
やさしいロシア語入門 ロシア語を始めましょう		大野 斉子（おおの ときこ）	
ねらい	文法とともにロシア語の表現を学びながらロシア語の基礎を身につけます。ロシア語は意外に読むのが簡単で、日本人にとって親しみやすい言語です。日本とロシアは隣国として関係が深く、近年ロシアの経済や文化への関心は急速に高まっています。授業ではビデオ鑑賞も行います。楽しくロシアについて学びましょう。		
授業計画	【前期】 第1回 文字と発音（1） 会話表現 第2回 文字と発音（2） ロシアについて 第3回 文字と発音（3） ビデオ鑑賞 第4回 文字と発音（4） 会話表現 第5回 文字と発音（5） ロシアについて 第6回 名詞と形容詞 ビデオ鑑賞 第7回 名詞と形容詞 会話表現 第8回 所有代名詞 ロシアについて 第9回 所有代名詞 ビデオ鑑賞 第10回 人称代名詞と動詞 会話表現 第11回 人称代名詞と動詞 ロシアについて 第12回 目的語 ビデオ鑑賞 第13回 目的語 会話表現 第14回 これまでのまとめ ロシアについて 第15回 試験 ビデオ鑑賞	【後期】 第1回 命令形 会話表現 第2回 命令形 ロシアについて 第3回 数の表現 ビデオ鑑賞 第4回 数の表現 会話表現 第5回 名詞のまとめ ロシアについて 第6回 移動の表現 ビデオ鑑賞 第7回 移動の表現 会話表現 第8回 所有の表現 ロシアについて 第9回 所有の表現 ビデオ鑑賞 第10回 未来の表現 会話表現 第11回 未来の表現 ロシアについて 第12回 場所の表現 ビデオ鑑賞 第13回 場所の表現 会話表現 第14回 これまでのまとめ ロシアについて 第15回 試験 ビデオ鑑賞	
進め方	テキストと音声CDを中心に授業を行います。音読や筆記の練習をしながらゆっくり進めます。また美しいロシアの街やアニメーションのビデオを鑑賞し、ロシア語の歌を歌ったりロシアの文学や文化を学ぶ時間を取り入れます。のんびりした楽しい授業ですので気軽に参加してください。		
テキスト	『ロシア語へのパスポート』（白水社） 『ロシア語習字ノート』（ナウカ出版）	参考文献	
評価方法	出席:70% 平常点:10% 定期試験:20%		

ロシア語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
やさしいロシア語中級 ロシア語を使いましょう		大野 斉子（おおの としこ）	
ねらい	ロシア語を前年にひき続き学びます。文法を終えたらロシア語の文章を読んだり会話表現を練習して、これまで身につけたロシア語の表現力をさらに豊かなものにしていきましょう。また授業ではビデオ鑑賞やロシアの紹介を行います。楽しみながらロシアへの理解を一層深めます。		
授業計画	【前期】 第1回 移動の表現 会話表現 第2回 移動の表現 ロシアについて 第3回 所有の表現 ビデオ鑑賞 第4回 所有の表現 会話表現 第5回 未来の表現 ロシアについて 第6回 未来の表現 ビデオ鑑賞 第7回 場所の表現 会話表現 第8回 場所の表現 ロシアについて 第9回 過去の表現 ビデオ鑑賞 第10回 過去の表現 会話表現 第11回 動詞の変化 ロシアについて 第12回 動詞の変化 ビデオ鑑賞 第13回 名詞の格変化 会話表現 第14回 名詞の格変化 ロシアについて 第15回 試験 ビデオ鑑賞	【後期】 第1回 不完了体と完了体 会話表現 第2回 不完了体と完了体 ロシアについて 第3回 形容詞の格変化 ビデオ鑑賞 第4回 形容詞の格変化 会話表現 第5回 前置詞のまとめ ロシアについて 第6回 前置詞のまとめ ビデオ鑑賞 第7回 ロシア語を読みましょう 会話表現 第8回 ロシア語を読みましょう ロシアについて 第9回 ロシア語を読みましょう ビデオ鑑賞 第10回 ロシア語を読みましょう 作文 会話表現 第11回 ロシア語を読みましょう 作文 ロシアについて 第12回 ロシア語を読みましょう 作文 ビデオ鑑賞 第13回 ロシア語を読みましょう 会話表現 第14回 ロシア語を読みましょう ロシアについて 第15回 試験 ビデオ鑑賞	
進め方	前年に続いてロシア語のテキストと音声CDを中心に授業を行います。音読や筆記の練習をしながらゆっくり進めます。文法が終わったらロシア語の文章を読み、会話や作文でロシア語を使ってみましょう。またビデオを鑑賞し、ロシア語の歌を歌ったりロシアの文学や文化について学ぶ時間をとりいれます。のんびりと楽しみながら授業を行います。		
テキスト	『ロシア語へのパスポート』（白水社）	参考文献	
評価方法	出席:70% 平常点:10% 定期試験:20%		

中国語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
中国語ポイント4 2		呉 秀月（ご しゅうげつ）	
ねらい	中国語を初めて勉強する人に、中国語の声調と発音をしっかり身につけることを目指します。そして中国語の文の基本構造を理解し、中国語の文章を読めることと簡単な会話が交わせることができるよう指導していきます。		
授業計画	【前期】 第1回 中国に関する紹介と中国語の発音の基礎紹介 第2回 中国語の発音：（1）声調・単母音の習得 第3回 中国語の発音：（2）複合母音の習得 第4回 中国語の発音：（3）子音の習得 第5回 中国語の発音：（4）鼻母音の習得 第6回 第一課：人称代名詞・是の文・名前の言い方 第7回 第一課の復習と第二課：動詞が述語になる文 第8回 第二課：指示代名詞・疑問詞を使う疑問文・“的” 第9回 第二課の復習と第三課：形容詞が述語になる文 第10回 第三課：所有を表す“有”・反復疑問文・副詞“也” 第11回 第三課の復習と第四課：場所を表す代名詞 第12回 第四課：存在を表す“在”・動詞の重ね型・省略疑問文 第13回 第四課の復習と第五課：数詞・量詞 第14回 第五課：“幾”と“多少”・語気助詞 第15回 第一課から第五課の復習	【後期】 第1回 前期教えた発音と文型の復習 第2回 第六課：存在を表す“有”・連動文 第3回 第六課：月日・曜日・時刻と 第七課：助動詞“要”・“想” 第4回 第七課：介詞“在”・“從”・完了を表す“了” 第5回 第七課の復習と第八課：助動詞“能”・“会”・“可以” 第6回 第八課：経験を表す“過”・時間の長さを表す方 第7回 第八課の復習と第九課：介詞・動詞の進行を表す 第8回 第九課の復習と第十課：結果補語 第9回 第十課：動作の状態や程度の表現・“還是” 第10回 第十課の復習と第十一課：方向補語 第11回 第十一課：“把”構文・比較の表現 第12回 第十一課の復習と第十二課：可能補語 第13回 第十二課：二重目的語をとる動詞・“是～的” 第14回 第一課から第五課までの復習 第15回 第六課から第十二課までの復習	
進め方	最初の数回は発音と声調の練習にあてます。その後は会話形式で中国語の文の基本的な構造と文の聞き取りの練習を何回も行います。受講者の授業への積極的参加が望まれます。		
テキスト	本間史・孟広学『中国語ポイント4 2』（白水社、2009年）	参考文献	授業中に紹介します。
評価方法	出席と授業参与:30% 期末試験:70%		

中国語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
ステップアップ中国語		孔 令敬（こう れいけい）	
ねらい	中国語を一年間学習した人を対象にする講座である。既習の単語や文法の知識を踏まえ、豊かな表現を勉強する。語学はくりかえし練習したり、暗記したりするのが有効な学習法である。積極的な授業参加を望む。		
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 一年次に学習した内容の復習</p> <p>第2回 第一課 前置詞・補語・伝聞句の使い方など</p> <p>第3回 練習</p> <p>第4回 第二課 助動詞・慣用句の使い方など</p> <p>第5回 練習</p> <p>第6回 第三課 助動詞2・動量詞の使い方など</p> <p>第7回 練習</p> <p>第8回 第四課 結果補語・方位詞の使い方など</p> <p>第9回 練習</p> <p>第10回 第五課 様態補語・二つの「了」の働きと使い分け</p> <p>第11回 練習</p> <p>第12回 第六課 比較表現と伝聞表現など</p> <p>第13回 練習</p> <p>第14回 第七課 総合練習と復習</p> <p>第15回 練習</p>	<p>【後期】</p> <p>第1回 前期に学習した内容の復習</p> <p>第2回 第八課 将然形の表現と慣用句の使い方など</p> <p>第3回 練習</p> <p>第4回 第九課 複文と慣用句 完了説明文など</p> <p>第5回 練習</p> <p>第6回 第十課 理由や条件を表す表現など</p> <p>第7回 練習</p> <p>第8回 第十一課 助動詞と慣用句の使い方など</p> <p>第9回 練習</p> <p>第10回 第十二課 複文と慣用句など</p> <p>第11回 練習</p> <p>第12回 第十二課 複文表現など</p> <p>第13回 練習</p> <p>第14回 総合復習</p> <p>第15回 テスト</p>	
進め方	教科書に沿って進める。学習効果をたかめるため、プリントを配布する時もある。		
テキスト	白帝社・『表現する中国語Ⅱ』・楊凱栄ほか	参考文献	中国語の語彙がもつ本来の意義は多岐に亙るものなので、みずから進んで辞書にあたって調べる習慣をつけてほしい。市販のものなら、何でもいい。
評価方法	平常点（出席点）と受講姿勢:50% 前後期2回の試験:50%		

韓国語Ⅰ（初級）		通年 2 単位	1・2・3年
韓国語の発音・日常会話と文化、書いて覚える韓国語		金 元恵（きむ うおんへ）	
ねらい	言葉はコミュニケーション及びその国の文化理解のために大切な手段です。いちばん近い外国である韓国の言葉を楽しめるように聞き、歌うように話しながら身につけて新しい世界を発見することを目指す。		
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 ハングルの由来と文化</p> <p>第2回 文字について、母音について、単語の発音と書く練習</p> <p>第3回 文字について、子音について、単語の発音と書く練習</p> <p>第4回 文字について、濃音について、単語の発音と書く練習</p> <p>第5回 文字について、終声（パッチム）の練習</p> <p>第6回 日常生活の基本的な単語の意味と発音練習（TESTのため）</p> <p>第7回 自己紹介の文をつくる 発音の練習（発表のため）</p> <p>第8回 基本的な文法を習得(1) 単文づくりを学ぶ</p> <p>第9回 基本的な文法を習得(2) 単文づくりを学ぶ</p> <p>第10回 単語TEST、自己紹介の練習</p> <p>第11回 日韓合作ドラマ「friend」感想</p> <p>第12回 "</p> <p>第13回 ビデオに出て来る韓国の文化を学ぶ</p> <p>第14回 自己紹介の発表TEST</p> <p>第15回 自己紹介の発表と日・韓合作ドラマの感想文の提出</p>	<p>【後期】</p> <p>第1回 発音の復習</p> <p>第2回 基本的な文法を習得(3) 単文づくりを学ぶ</p> <p>第3回 基本的な文法を習得(4) 単文づくりを学ぶ</p> <p>第4回 テキストに従ってpointとなる日常会話を学ぶ(1)</p> <p>第5回 " (2)</p> <p>第6回 " (3)</p> <p>第7回 " (4)</p> <p>第8回 日常生活の基本的な形容詞の意味と発音（TESTのため）</p> <p>第9回 形容詞の発音と単文づくりを学ぶ</p> <p>第10回 日韓合作ドラマ「ソナギ」感想</p> <p>第11回 " ドラマに出る韓国文化を学ぶ</p> <p>第12回 動詞の語幹にどんな語尾がつかがるか(1)（手紙を書くため）</p> <p>第13回 " (2) (")</p> <p>第14回 形容詞のTEST 手紙の書き方</p> <p>第15回 韓国のお正月の話、かえるの物語、お料理の紹介</p>	
進め方	テキストが中心となります。毎回練習問題を宿題として出します。同時にテキスト以外の物も多く学びます。充分練習した自己紹介を発表することによって自信を持てます。「Friends」ビデオは感想文を書きます。（日本語で）最終的には多くの単語を使ってまた語尾の変化に従って自由テーマに手紙を書くことを目指します。		
テキスト	「韓国語の初歩」白水社 著者：厳基珠 金三順 金天鶴 甲鉉竣 吉川知文	参考文献	特に定めず授業時に紹介する。
評価方法	発音と自己紹介の発表:25% 単語テストと手紙を書く:25% 宿題:25% 出席:25%		

韓国語Ⅱ（中級）		通年 2 単位	2・3年
中級韓国語		北原 スマ子（きたはら すまこ）	
ねらい	韓国語の中級レベルの「読む・書く・話す・聞く」力をバランスよく身につけることを目的とします。日常よく使う文法・文型・語彙などを学び、より多様で豊かな表現ができるようにします。学んだことを応用して、簡単な会話ができることをめざします。言葉の背景にある韓国の文化や社会に対する理解を深めます。		
授業計画	<p>【前期】</p> 第1回 ガイダンス、日常会話の復習、自己紹介 第2回 第1課～第4課 文字、発音、文法の復習 第3回 第5課 田中です。 第4回 第5課 名詞文 第5回 第6課 私のカバンではありません。 第6回 第6課 名詞文の否定と尊敬 第7回 第7課 どこにありますか。 第8回 第7課 用言文 第9回 第8課 1万3千ウォンです。 第10回 第8課 数詞・疑問詞 第11回 第9課 どこに行かれますか。 第12回 第9課 尊敬形 第13回 第5課～第9課の総まとめ 第14回 韓国の文化に触れるⅠ 第15回 期末試験	<p>【後期】</p> 第1回 前期の復習、会話練習 第2回 第10課 もう少し教えてください。 第3回 第10課 連用形 第4回 第10課 ヘヨ体 第5回 第11課 ちょっとお待ち下さい。 第6回 第11課 ヘヨ体の尊敬形 第7回 第11課 婉曲表現 第8回 第12課 日曜日には何をなさいましたか。 第9回 第12課 過去形 第10回 第12課 原因・理由表現 第11回 第13課 日本語を専攻しています。 第12回 第13課 進行形・連体形 第13回 第10課～第13課の総まとめ 第14回 韓国の文化に触れるⅡ 第15回 期末試験	
進め方	テキストを使って単語・発音・文法・文型などを学び、練習問題を通して、理解の定着を図ります。本文を暗記してロールプレイングを行います。韓国の文化や社会を理解するために映像や、出版物を活用します。		
テキスト	生越直樹、チョ・ヒチョル著『ことばの架け橋』（白帝社）	参考文献	小学館・韓国金星出版社共同編集『朝鮮語辞典』（小学館）
評価方法	出席:30% 宿題・小テスト:20% 定期試験:50%		